

# 《事業の概要》

## 1. 理事長指針・学校長方針

### ■ 理事長指針

1. 「J-Vision22」に沿って一層邁進し、教育・研究における質への転換をさらに図るとともに、グローバルな環境下で活躍できる人材を育成する。
2. 透明性の高い経営を推し進め、本部・設置各学校が一体となり、有効なイノベーションを実行する。
3. 設置各学校において「オンリーワン」、「ナンバーワン」を強化し、魅力的で広く社会から選ばれる教育機関となる。

### ■ 大阪工業大学 学長方針

2017年度、梅田キャンパスの開設(新学部・新研究科の設置)、工学研究科の改編が控え、また大宮キャンパスの再開発が始動する2016年度は、本学にとって大きな変革の年となる。

以下に掲げる項目の多くは、従来ものを踏襲している。これらこれまでの活動を維持しつつ、大変革を成し遂げるために、全教職員の一層の協力体制の確立が不可欠である。

一人ひとりの構成員が、この状況を共有して、各自の強みを最大限に活かし、全員で“新しい”大阪工業大学の実現を目指すことを学長方針の第一とする。

以下、個別の項目を列挙する。

- I. 梅田キャンパスの開設(新学部・新研究科の設置)準備の円滑な遂行
- II. 工学研究科の改編に係る準備の遂行
- III. 大宮キャンパス再開発計画の立案と早期着手
- IV. 継続的・効果的な自己点検・評価活動の推進
- V. 建学の精神に基づく実践的教育の促進
- VI. グローバル展開の充実
- VII. 課外活動等の学生支援の充実
- VIII. 堅実な学生確保と社会の動向を見据えた入学選考・高大接続の検討
- IX. 「就職に強い大阪工大」の地位の維持と向上
- X. 産業界・行政・地域などとの関係強化

### ■ 摂南大学 学長方針

#### 1. 基本方針

本学は、建学の精神に則り、『全人の育成を第一義として、人間力・実践力・統合力を養い、自らが課題を発見し、解決することのできる知的専門職業人を育成すること』を教育理念にしている。また、その教育・研究・社会貢献の方向付けとして、「知のネットワーク」と「人間的な社会の創造」に資するために、タグラインとして『Smart and Human』を定めている。『Smart and Human』は、ユニバーシティ(総合大学)の理念に一致し、望ましい社会のあり方であると同時に、制度・技術、そして文化のあり様にも直結している。これらの教育理念およびタグラインに基づいた教育・研究活動等を実行し、その実績を学内外に「見える」ように具現化することが本学の基本方針である。

大学は、主人公である学生の「知性と人間性」を磨く場である。本学の教職員は保護者・卒業生と連携し、学内のみならず、学外(地域・産業・社会)での経験を通して学び育つように支援する。特に、教員はそれぞれの専門領域における最新の知識と卓越した教育能力をもって学生を指導しなければならない。本学は、知(地)の拠点として形成されるネットワークを通じて、最新の知識および学修力・実践力をもつ人材を循環させ、知的にして人間性豊かな産業・社会・生活の構築に貢献する。

上記の目的を達成するために、「施設環境・財政・ガバナンス等の大学基礎力」、「正課および正課外の教育の効果を高める教育実践力」、「7学部および学内部署、学園内設置大学・中高校、卒業生・保護者、企業・産業、グローバル・ローカルの地域社会などとの連携力」を高める。

#### 2. 主要課題

##### (1) 教育の質的転換の実行

- ・能動的学修(アクティブ・ラーニング)の実践に向けた教育内容・方法の再検討
- ・入学から卒業までのキャリア教育の実践
- ・卒業生・学外者等の参画の促進

##### (2) 国際的に活躍できる人材の育成

- ・教育課程・学修内容・学修方法のグローバル化の推進
- ・国際的なコミュニケーションを可能にする学修環境の改善
- ・留学生の受入、海外大学等との交流促進、留学制度、海外研修の機会等の充実

##### (3) ブランド構築とUSRの推進

- ・学修Outcome(卒業時の能力、就職・進学)を重視する教育・研究の推進
- ・地域・産業との連携による教育・研究の展開
- ・本学が取り組む教育・研究・社会貢献活動の情報公開

## ■ 広島国際大学 学長方針

### 〈 基本方針 〉

本学は、2013年度から健康・医療・福祉の分野における総合大学として発展していくことを定め、教育改革および、教育改革と連動した教育環境の整備、さらに通学の利便性向上などの生活環境の整備を進めてきた。その一環として「広国教育スタンダード」という教育体系を導入し、多くの学科において、本年度より新しいカリキュラムがスタートする。

2016年度もこれらの改革を積極的に進めるが、これに加えて、2015年度にまとめた本学の将来像「ともにしあわせになる学び舎」の実現に向けて、全教職員が協働して長期的な計画を立て、戦略的に改革を進めていく体制を整える。

さらに、本学は2018年に開学20周年を迎える。今後も選び続けてもらえる大学として、30周年、50周年を迎えることができるよう、基本戦略の策定を2016年度中に行う。

### 【重点課題】

1. 長期計画の策定
2. 大学ブランドの創造
3. 教育改革
4. 教育・研究環境整備
5. 学生の生活環境整備
6. 業務のスリム化

### 〈 具体的な施策 〉

#### I. 教育・研究

- (1) 健康・医療・福祉分野の総合大学としての「教育改革」の推進
- (2) 国家試験対策を含めた資格取得支援の強化
- (3) 自立的学修の推進に向けた教育上の工夫
- (4) Moocsなど教育のオープン化を含めメディア授業の取り扱い検討
- (5) 社会人の学びなおしニーズに対応した教育プログラムの検討
- (6) 研究倫理教育の実践による公正な研究活動の推進
- (7) 教員の研究力向上と外部資金獲得の推進

#### II. 学生支援・キャリア支援

- (1) 満足度の向上
- (2) 健康・医療・福祉分野の総合大学としてふさわしいキャンパス、施設等のあり方の検討
- (3) 学修環境の整備
- (4) ボランティアセンター及びキャンパスマイレージ制度を活用した学生の社会貢献活動の促進
- (5) 学生が身体的・精神的健康を保つための支援
- (6) 入学から卒業まで一貫した学生支援・キャリア支援システムの充実

#### III. 学生募集

- (1) 学生の質保証と入学定員充足の両立に向けた取り組みの実施

#### IV. 人材育成(教職員)

- (1) SD・FD活動の強化
- (2) 教員評価制度の運用評価
- (3) 教職員、学生、卒業生に対する学園・大学への愛校心の醸成促進
- (4) 行動規範の徹底・遵守

#### V. 財務

- (1) 国等からの大学改革のための補助金獲得に向けた全学的な取り組み実施
- (2) 事業計画及び業務内容、業務フローの見直し等によるコスト削減
- (3) 教育研究費への予算傾斜配分

#### VI. 連携推進

- (1) 法人本部、部署間の連携推進による経営の透明化と業務の効率化
- (2) 高校生(学園内高校を含む)に対する医療・福祉系のキャリア教育支援
- (3) 学園設置学校及び広島県内の大学との連携強化

#### VII. ブランディング

- (1) 大学ブランド確立に向けた戦略策定
- (2) 教職員一人ひとりの広報意識を高め、大学の取り組みを集約・発信する体制の強化
- (3) データに基づいた自己点検・評価・改善活動による社会的信頼の確立

#### VIII. 社会貢献・産官学連携

- (1) 自治体や医療福祉関連機関との連携推進
- (2) 公開講座等、高校生及び社会・地域に向けた活動の充実

#### IX. グローバル化

- (1) 海外への送り出しの拡大
- (2) 留学生の支援体制の充実

## ■ 常翔学園中学校・高等学校 校長方針

- ・2022年の長期目標達成のため、第Ⅱ期中期目標の行動計画を実践し、生徒の学力伸長と人間力向上により、実社会で活躍できる人材を育成する。
- ・遅れている中高東館の建替えを推進する。
- ・中学からの内部進学1期生の卒業にあたり、進学実績向上および一貫コース運営についての検証・見直しを計る。
- ・「凡事徹底」「挨拶・掃除・身だしなみ」を学校のスローガンに掲げた指導を実践する。

### [大学進学目標]

1. 学園内併設大学への進学率 30.0% (2016年度卒業生、対卒業生数比)
2. 大学合格者数(2017年度大学入試、既卒生を含む延人数) 国公立大学 60人、関関同立大学 200人

### [学校運営・人材育成]

1. 経営感覚を有した教職員の育成と学校運営改善のための積極的な行動の奨励
2. 中高一貫コースのカリキュラム・進度・クラス編成・進学強化対策他、運営システムの見直し
3. 中期目標に基づいた各部署・個人の具体的目標の設定と実践
4. 学園内併設大学および常翔啓光学園中高との連携・交流の推進
5. 卒業生、保護者との連携・交流の推進
6. 日々の教育活動の見える化を意識したHPの更新やメール配信

### [授業力]

1. 授業アンケートポイント向上に向けた授業の工夫・改善、大学入試問題分析、高等学校基礎学力テスト、大学入学希望者学力評価テスト(仮称)の情報収集、研究授業・教員研修等を通じた授業力の向上
2. アクティブラーニング、ICTを活用した教科指導実践に向けた研修
3. 教科ごとの授業力向上会議とその実践および結果公表

### [教育内容]

1. ICT教育推進のためのインフラ整備と研修および実践
2. 内部進学者学力向上のための学習指導強化
3. 中高大連携教育の推進と充実
4. 一般入試受験率の向上
5. 勉強と部活動との両立を支援する環境づくり
6. 生徒・保護者面談におけるコミュニケーションスキルの向上
7. 放課後の自主学習、自宅学習の学習量増加への指導強化
8. キャリア教育の重要性を全教職員が共有し、授業・特別活動・課外活動等での普段からのキャリア教育に関連付けた指導と中高キャリアプログラムの一層の充実
9. 進学実績向上に向けた学年・コースの全校あげでの組織的な取り組み
10. 文理進学コースの学力、進学実績の向上
11. 成績上位者における、模試、センター試験の平均偏差値・平均点の向上ならびに受験者全体の成績向上
12. センター試験を意識させるための低学年(中学校も含む)からのテストへの(センター試験問題の)恒常的出題
13. 海外修学旅行、語学研修、英会話講座、授業を通じ、国際社会や異文化に関心を持たせ、積極的に交流しようとする人材の育成

### [生徒指導]

1. ルールやマナーにこだわりを持たせる指導と教職員自らの率先垂範した行動
2. 「本校の考える担任力」に基づいた教員個々の担任力(生徒指導力・進路指導力・保護者対応力)の向上
3. 授業規律の徹底と教員間の情報共有
4. 社会性が身につく部活動指導、部活動生が学習面においてもリードすることのできる支援体制の構築、社会が求める真のリーダーの育成
5. 自校史教育の充実
6. 環境教育、ボランティア活動を意識した生徒への啓発と教職員自らの積極的行動
7. いじめ防止、体罰禁止を意識した指導、厳しくも褒めて伸ばす教育の実践
8. 中学生も含めた生徒会活動の活性化

### [生徒募集]

1. 2017年度入学目標  
高 校:585人(14クラス、一貫コース2クラスを含む募集人数555人)  
中学校:105人(3クラス、募集人数100人)
2. 募集広報に有効な情報(成績伸長、活躍、教科の取組み・成果等)の共有
3. 中学校入試における説明会等参加人数増加のための施策強化
4. 全教職員の入試広報に対する意識の向上と協力

## ■ 常翔啓光学園中学校・高等学校 校長方針

### [まえがき]

様変わりする社会の多様なニーズやグローバル化にも対応できる人材の育成を図るため、本校では各生徒に確固たる目的意識を持たせることで探求心と自学自習の力を涵養させて学力を向上させるとともに、卒業後も大学や社会・企業で存分に活躍できる幅広い能力を身につけさせている。これらを実践するために以下の各項目に全教職員が全力で取り組むこととする。

### [学校運営・人材育成]

1. 学校運営の改善に向けての教職員の積極的な実践行動

2. 学園内各校が有する特色・強みを最大限生かせるような中高大連携の推進
3. 所属する各分掌の具体的目標の達成に向けた各教員の積極的取り組み
4. 自己評価・自己点検の制度の充実と、公開授業の拡充で教科指導能力の向上
5. いじめ、体罰、ハラスメントなどの各種人権侵害に関わる教職員向けの研修会の継続的な実施、および危機管理意識の醸成
6. 卒業生や保護者との連携のさらなる推進

[進学指導・教育内容]

1. 生徒の進路目標に対応する効果的な進学指導と、現役合格に向けた学力増強をはかる教科指導プログラムの構築
2. 進学実績の向上につながる授業展開の研究
3. 成績上位層をさらに伸ばすための強化講習、ならびに成績不振者のための補完授業の展開
4. 中高6か年教育の利点を生かすための系統的な進路学習および語学教育の実践
5. 教育力向上のための授業アンケートの活用
6. 自学自習の力を伸ばす支援体制ならびに学習環境の整備

[人間力育成・生徒指導]

1. 教職員による生徒への積極的「声かけ」の推進と生徒の日々の状況把握
2. ルールやマナーに対する継続的な意識付けと、教職員自身の率先垂範意識の向上
3. グローバル化に対応できる生徒の育成を目指すための海外研修旅行や留学制度の内容整備
4. 工大・摂大の留学生による国・地域に基づく固有のしきたりや生活習慣、さらに宗教の違いについての講演の継続的实施による国際理解教育の推進
5. 部活動において、リーダーシップ育成など社会人としても通用する人間力指導の徹底
6. サイエンス教育の拡充による自然科学系分野への進路の拡大
7. ボランティア活動の推進など生徒会活動のさらなる活性化

[生徒募集]

1. 生徒確保に向けて、全教職員の入試広報活動についての意識向上
2. 中学校入試における受験生の確保のための知名度向上をはかる施策と、効果的な学校説明会の実施
3. 募集広報に重要な役割を果たすホームページの刷新と運営

## 2. 事業計画 実績報告

### (1) 事業計画

2016年3月22日 理事会承認

#### ■ 法人本部

- No.1▶大阪工業大学梅田キャンパスの開設準備および新校舎建築  
〔経営企画室、財務部、工大梅田キャンパス開設準備室〕

#### ■ 大阪工業大学

- No.1▶梅田キャンパスの教育環境の整備、認知度向上〔学長室、入試部〕

#### ■ 摂南大学

- No.1▶キャンパス整備計画事業〔学長室会計課〕  
No.2▶大学・大学院の改組事業〔学長室企画課〕

#### ■ 広島国際大学

- No.1▶広島国際大学2016年度大学改革事業  
〔企画課、庶務課、会計課、営繕課、呉庶務課、教務課、呉教務課、総合教育センター、学生課、呉学生課、入試センター、キャリアセンター、医療経営学部事務室〕

#### ■ 常翔学園中学校・高等学校

- No.1▶ICT教育推進事業〔高校教頭・事務室〕

#### ■ 常翔啓光学園中学校・高等学校

- No.1▶ICT教育推進事業〔教頭、教務部、事務室〕

## 法人本部:1件

No.1 大阪工業大学梅田キャンパスの開設準備および新校舎建築  
〔経営企画室、財務部、工大梅田キャンパス開設準備室〕

事業計画の目的、計画など	実績
<p><b>【必要性・目的、実施計画等】</b></p> <p>《必要性・目的》</p> <p>本事業は、学園の重点的推進事業として、以下の趣旨により展開する。</p> <p>① 大阪工業大学に「ロボティクス&amp;デザイン」を理念とする新学部、新研究科を設置し、その理念を施設全体で実践することにより優れた人材を輩出する。</p> <p>② 大阪工業大学および学園設置各学校が、産官学民の連携を強化しながら、イノベティブ(革新的)な研究・技術開発への取り組みを創出する拠点となることを目指す。</p> <p>③ 梅田という立地特性を活かし、ホール、セミナー室、ギャラリーなどを備えた市民開放型“にぎわいエリア”の役割も併せ持ち、産官学民が交流し、知と情報が創造される場として、開かれたキャンパスを築く。</p> <p>梅田キャンパスにおけるこれらの施策は、ひいては教育の質やブランド力の向上、そして学園の経営基盤強化に資することとなり、厳しい時代を乗り越えてゆく糧となる。</p> <p>《実施計画》⇒本事業は2012年度より開始(5年目)</p> <p>(I) 経営企画室、工大梅田キャンパス開設準備室 ・キャンパスの開設準備 梅田キャンパス低層階の市民開放型“にぎわいエリア”(ホール、セミナー室、ギャラリーなど)における施設管理・運営管理・利用促進体制を構築する。</p> <p>(II) 財務部 ・新校舎建築 梅田キャンパスでの学部等設置(改組、移転等)を含む教育・研究事業、地域連携・貢献事業、その他新規事業を想定した新校舎を建築する。</p>	<p><b>1. 自己評価による達成度</b></p> <p>2016年度に実施すべき事業計画は、概ね計画どおりに実施されており、評価できる。</p> <p><b>2. 実施した施策</b></p> <p>(I) 経営企画室、工大梅田キャンパス開設準備室</p> <p>2016年6月～8月 2階のレストラン誘致活動を行い、出店条件について交渉の末、合意に至った。</p> <p>2016年9月～2017年3月 新学部を中心に学園内設置学校のPR等に使用する1階ギャラリーのデジタルサイネージについて、コンテンツ制作を行った。</p> <p>2016年9月30日 竣工に先立ち、タワー内の店舗向けに「館内規則」を発行し、館内の運用ルールのほか、各店舗が大学教育機関としての機能の一部を果たすことについて共有を図った。</p> <p>2016年11月8日 ホール、セミナー室等を学外者に貸与することができるように、取扱いについて定めた「OIT梅田タワー施設等貸与内規」を制定した。</p> <p>2017年1月～3月 ホール、セミナー室等の施設貸与業務が新年度から株式会社常翔ウェルフェアに決まったため、準備業務として同社に委託した。</p> <p>2017年3月 ・「OIT梅田タワー」の魅力を広くPRするため広報室作成のパンフレットを1万部増刷した。 ・貸与施設を広く周知し多くの方に利用いただくため、「常翔ホール」等のパンフレットを作製するとともに、貸与施設専用HPの改修を行った。</p>
<p><b>【具体的指標・効果(成果検証)】</b></p> <p>(I) 経営企画室、工大梅田キャンパス開設準備室 低層階の市民開放型“にぎわいエリア”における施設運営管理体制の確立、大学・企業・地域との組織連携事業の立ち上げ、備品・什器の検討と導入、デジタルサイネージコンテンツの制作およびキャンパス竣工後の各種対応などを行う。</p> <p>(II) 財務部 2016年度内の利用開始に向け、計画どおり新校舎建築を進めていく。 <b>【完遂時期】</b> 新校舎の竣工:2016年10月(予定) 利用開始:2016年度内(予定)</p>	<p>(II) 財務部</p> <p>2016年10月27日 OIT梅田タワーの竣工式、定礎式、除幕式を実施した。</p> <p>2016年11月14日 株式会社オペレーションファクトリーが、カフェダイニング「オイスターバーWHARF」を開店した。</p> <p>2017年1月19日 株式会社セブン-イレブン・ジャパンが、コンビニエンスストア「セブンイレブン」を開店した。</p> <p>2017年3月21日 EGGS'N THINGS JAPAN株式会社が、カジュアルレストラン「EGGS'N THINGS」を開店した。</p> <p>2014年4月～現在</p> <p>1) 北梅田地区まちづくり協議会にオブザーバーとして出席し、これ以外に主要なイベントに地域住民と共に参加した。</p> <p>2) 梅田東連合振興町会会長、茶屋町振興町会会長、鶴野町新興町会会長、芝田一丁目振興町会会長、芝田二丁目振興町会会長、大阪市北区梅田東地域社会福祉協議会会長への挨拶。→継続して意思疎通・情報交換を図っている。</p> <p>3) セイレイ興産株式会社(ヤンマー本社ビル所有者)との協力関</p>

	<p>係を構築し、本構想・計画との進捗調整など、種々の協議を行っている。</p> <p>4)関係官庁(都市技術センター、大阪市教育委員会、大阪市開発計画課、大阪市開発誘導課、大阪市建築企画課など)と建築にあたって詳細な協議を続けている。</p>
--	--

## 大阪工業大学:1件

### No.1 梅田キャンパスの教育環境の整備、認知度向上 [学長室、入試部]

事業計画の目的、計画など	実績
<b>【必要性・目的、実施計画等】</b>	<b>1. 自己評価による達成度</b>
<p>《必要性・目的》</p> <p>2017年4月に梅田キャンパスにおいて開設が予定されているロボティクス&amp;デザイン工学部および同研究科の教育研究環境を整え、円滑な運営を開始するとともに、同学部の学生募集など広報活動を通して、“新しい大阪工業大学”をシンボリックに世の中に伝え、本学の「進化」を強く印象づけることを目的とする。</p> <p>《実施計画》</p> <p>① 新学部・新研究科の教育研究環境整備 新学部・新研究科の教育に必要な機器・備品等を設置し、設置の趣旨に沿った教育研究環境を整備する。</p> <p>② 運営体制の確立 梅田キャンパス開設準備室において要員の拡充を行い、教務・学生支援、管理業務の体制を確立する(ロボティクス&amp;デザインセンターの機能整備を含む)。</p> <p>③ 新学部・新研究科開設に向けた広報活動 2017年度開設の新学部・新研究科に関連する受験生・保護者・高校等を対象とした広報活動およびその基礎となる“新しい大阪工業大学”のイメージ浸透。 ・学部・学科等のコンセプトを踏まえたターゲット別広報の実施 ・訴求対象に応じた広報の実施 ・フリーパブリシティ活用等</p> <p>④ 文部科学省への届出書類の作成 2016年4月下旬に予定されている届出に向けて、学生確保の見直し等の調査を含む書類作成(調査は第三者に委託、関連したコンサルテーションを想定)。</p> <p>⑤ 新学部・新研究科(ロボティクス&amp;デザインセンター含む)のPRイベントの実施 シンポジウムその他のイベントを通して、「ロボティクス&amp;デザイン」という新しい分野への社会的認知を促進し、産官民学連携推進のための契機をつくり出す。</p>	<p>①教育研究環境整備 ・各フロアのグランドプランに沿った機器・設備の構成となった。今後はいかに効率的・効果的な活用ができるかをシミュレーションしていく。</p> <p>②運営体制 ・学部とロボティクス&amp;デザインセンター(RDC)との連携、学部事務室と学科事務室の連携など、教職協働で取り組めるよう、さらに連携を深めていく。</p> <p>③広報活動 ・ホームページについて、より学部・学科の特色がわかる内容に刷新した。今後も充実した内容へと更新を行う。</p> <p>④申請業務 ・4月に設置届出書類一式を文部科学省に申請のうえ受理された。</p> <p>⑤PRイベントの実施 ・オープンキャンパス・講演会では、想定を上回る757人の来場があり、関心度の高さを知ることができた。グランフロント大阪ナレッジキャピタル「The Lab.」では、見学者から製作物(展示物)に対して好評を得られ、本学PRに貢献できている。また、定期的に展示物の入れ替えを行ったことも良い結果につながっている。これを、開設後の梅田キャンパス1階ギャラリー展示へとつなげていく。</p>
<b>【具体的指標・効果(成果検証)】</b>	<b>2. 実施した施策</b>
<p>① 新学部・新研究科の教育研究環境整備 「ロボティクス&amp;デザイン」という新規性のある融合分野に相応しい施設・設備により、魅力ある教育研究環境を対外的にもPR。産官民学の協働により「ロボットのある日常」を実現する「知の拠点」というコンセプトを体現することで、学外のリソースが集まることが目標(2017年度以降に実現)。</p> <p>② 運営体制の確立 梅田キャンパス開設準備室における十分な準備を踏まえて、2016年度後半からの移転計画、2017年度の円滑な運営が行われること。</p> <p>③ 新学部・新研究科開設に向けた広報活動</p>	<p>①教育研究環境整備 ・大宮キャンパスからの移設物品の選定と設置場所については、若手教員が中心となって既存物品の種類・型・大きさなど調査を行い、梅田キャンパスの各フロアと教育(実験・実習など)を効果的に実施するための物品の選定と設置場所を決めた。 ・実験科目の授業実施場所の確保に苦慮したが、スペースを有効活用し、レイアウトを完成させた。 ・CADソフト、図書購入(雑誌・電子ジャーナル)など新学部開設時の教育研究に必要な予算については確保した。</p> <p>②運営体制 ・梅田キャンパス開設準備室の陣容については、2017年4月の開設を見据え、4月に3人増(うち1人は兼務発令)、10月に3人増となり、計9人(兼務発令者含む、RDC担当除く)体制となった。 ・『学部運営』の教務関連業務においては、ガイダンス、履修受付、履修質問対応、履修データ作成など、教務課に出向して準備を進めた。 ・『低層階にぎわいエリア運営』の準備では、(i)展示品製作にかかる必要経費、(ii)サイネージのコンテンツ制作にかかる委託費、(iii)にぎわいエリアを活性化させるための開設準備に必要な特別予算を確保した。 ・8階のRDCおよび9階のイノベーションラボにかかる3Dプリンタ、切削加工機、レーザー加工機、旋盤などの一般的な加工機器の学生への指導、管理のための適正な人材確保を行うため、特任技師1人の採用を計画した。 ・きめ細かな教育指導体制を整備すべく、実験実習等の授業補助員としてのTAまたはSA(学生アルバイト)を確保するための予算を</p>

社会的な認知を推進し、梅田キャンパスにおける教育・研究・産官民学連携をスムーズに行う上での基礎を築く。加えて、大阪工業大学の活力が世の中に印象づけられていること。

④ 文部科学省への届出書類の作成

滞りなく届出を行うこと。

⑤ 新学部・新研究科(ロボティクス&デザインセンター含む)のPRイベントの実施

2015年12月に実施した企画との連続性の下、2回を上限としてイベントを企画し、それぞれ300人程度の動員を行う。動員以上に、企画を通して梅田キャンパス開設以降を念頭に置いた協力関係の構築を行うことを重要な目的と位置づける。

確保した。

- ・10月27日の竣工式後直ちに警備および清掃の各業務が稼働できるよう、警備は「コスモ警備保障株式会社」、清掃は「株式会社フロンティア」と委託契約を結びビル管理体制に万全を期した。
- ・低層階の常翔ホールとセミナー室等の施設貸与の受付・管理業務は「常翔ウェルフェア」に委託し、21階のキャンパスレストラン「レストランテ翔21」受付との一元管理が行える体制を整えた。また、1階ギャラリー展示物の説明要員および管理業務についても「常翔ウェルフェア」に委託し、展示物の盗難防止の対策も講じた。
- ・全学および学部内の各種運営委員会等の委員について、業務負担の均一化を図りながら担当(委員)を割り当てた。

③ 広報活動

- ・ロボティクス&デザイン工学部専用の新設サイトを立ち上げ、梅田キャンパス特設サイトを集約した。
- ・大学院ロボティクス&デザイン工学研究科のリーフレットを作製し、在学生ならびに保護者等対象の説明会等で配付した。

④ 申請業務

- ・2016年3月: 大学収容定員増認可申請(2016年6月認可)
- ・2016年4月: 新学部・新研究科設置届出

⑤ PRイベントの実施

- ・4月から「The Lab.」内の展示ブースに参画し、梅田キャンパス1階ギャラリーに展示する作品の試行を実施した。
- ・9月25日に梅田キャンパス近隣のホテル阪急インターナショナルにてオープンキャンパスイベント・講演会を開催した。
- ・NEDO特別講座(NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開/ロボットの社会実装におけるイノベーション創出人材育成)の一環として、11月21日と12月5日にオンライン学習サイト上で講義「ロボットサービス・ビジネススクール オンライン講義」を実施した。
- ・12月9日・10日に、梅田キャンパスにて高校生、予備校生、保護者、高校・予備校教員を対象としたキャンパス見学会を実施した。

### 3. その他

梅田キャンパス開設以降、学生が利用することで浮かび上がる問題点や改善点が出てくると思われる。クラブ活動場所なども含め、特に既存学生から不満がでないように、梅田キャンパスという環境の中で、総合評価で学生の満足度を上げられるよう教職協働で一丸となって取り組む。

① 教育研究環境整備

- ・オープンスペースによる入り交じり教育を実施していくことになるため、マナー教育やセキュリティの強化が必要となる。学生の倫理観教育の必要性を実感しており、ガイダンス等での周知を徹底する予定である。
- ・3年次第2クォータープログラムについて、(i)特色あるPBL教育プログラム(自主企画、産学連携)の整備、(ii)海外派遣先の確保・交渉、(iii)プログラム実施のための予算確保など具現化を図る。

② 運営体制

- ・TAまたはSA(学生アルバイト)や学部事務室等に必要な臨時要員などの募集を行い、適正ある人材を確保する。
- ・開設当初の1階のセキュリティゲートとエレベーターの混雑・混乱を回避するため、授業に2階のセミナー室を併用して学生を分散させる教室配当の調整を再度行う。
- ・既に稼働している警備および清掃の各業務の委託業者と連携しながら、実態に則した運用・管理に改善を進め、ビル管理に万全を期す。
- ・低層階のにぎわいエリアを効率的かつ効果的に運営・管理が図れるよう「常翔ウェルフェア」と連携しながら常翔ホール等の施設貸与業務を進めるとともに、他団体等とも協議して稼働率を上げる方策を講じる。
- ・RDCが中心となり、産学連携のプラットフォームとイノベーション教育開始のためのグランドデザインを構築する。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1階ギャラリーの運営はギャラリー運営委員会を中心に進めていく。</li> <li>③広報活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボティクス&amp;デザイン工学部サイトをより充実した内容とするため随時更新する。</li> <li>・高校訪問の実施、高校模擬授業、高校保護者説明会などへの参加などを積極的に行う。</li> <li>・高校生などの梅田キャンパス見学会の受け入れを積極的に実施する。</li> </ul> </li> <li>④申請業務 <ul style="list-style-type: none"> <li>－</li> </ul> </li> <li>⑤PRイベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャリウッド、スノーマンなど梅田で実施されるイベントに積極的に参加し、学生の研究成果物の発表の場とする。</li> <li>・梅田キャンパス開設イベントとして、5月13日にアカデミックな開設シンポジウムを実施する。</li> <li>・ロボティクス&amp;デザイン工学部のPRイベントは、魅力ある内容・企画により開設後も継続していく。</li> <li>・PR効果が高い1階ギャラリーを積極的に活用していく。</li> </ul> </li> <li>⑥その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー室、常翔ホールの更なる有効活用を検討する。</li> <li>・大阪府曾根崎警察署と災害時の施設利用に関する協定を締結。協定内容は、南海トラフを震源とする海溝型地震や台風、局地的豪雨による梅田周辺の冠水などの災害発生により曾根崎警察署が被災し、警察機能に支障が生じた際に梅田キャンパスの施設(教室の一部、駐車場)を警察署臨時拠点の施設として一時的に貸与するものである。</li> <li>・学園と大阪音楽大学が連携協定を締結。これにより、「常翔ホール」で、さまざまなジャンルのコンサートの開催が見込まれる。さらに最新のテクノロジー・デザイン・音楽が融合した新しい芸術文化・技術を「知の拠点」として発信し、梅田エリアのより一層の発展に寄与することを目指していく。</li> </ul> </li> </ul>
--	---

## 摂南大学: 2件

### No.1 キャンパス整備計画事業 [学長室会計課]

事業計画の目的、計画など	実績
<p><b>【必要性・目的、実施計画等】</b></p> <p>《必要性・目的》</p> <p>寝屋川キャンパスは、教育研究、産学官連携、社会貢献等様々な活動を展開する摂南大学の中核キャンパスである。大学の存在意義を示し、地域に愛され信頼される大学を築くために、このキャンパスを学生・教職員だけでなく、地域の人々にも潤いと安らぎを与える空間として整備する。学部・学科の再編をはじめ、教育プログラムの充実や課外活動の活性化を目的とした整備内容とする。</p> <p>一方、枚方キャンパスは屋内体育施設がなく、体育の授業で大阪工業大学情報科学部の体育館を借用しているが、移動時間を確保するため、授業時間の短縮を余儀なくされている。課外活動団体の部室も不足している状況であり、体育館および部室棟の建設が急務である。</p> <p>《実施計画》</p> <p>[寝屋川キャンパス]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の敷地に2018年1月引き渡し予定の日本ペイント(株)寝屋川事業所用地を加えて、寝屋川キャンパス全体の整備計画を検討・策定する。[2016年度]</li> <li>・摂大交流会館解体に伴うクラブハウス新築工事(豊興運輸倉庫跡地)[2016年度(交流会館解体は2017年度)]</li> </ul> <p>[枚方キャンパス]</p>	<p><b>1. 自己評価による達成度</b></p> <p>寝屋川キャンパスクラブハウス新築工事(3/28竣工)が完了したが、キャンパス全体の整備計画検討・策定が完了しておらず2017年度に引き続き行うことになったため。</p> <p><b>2. 実施した施策</b></p> <p>[寝屋川キャンパス]</p> <p>2016年5月 クラブハウス新築工事着工(工期:2016年5月～2017年3月)</p> <p>[枚方キャンパス]</p> <p>2016年9月 体育館の建設は敷地の関係で現状不可能であり、新たに第2駐車場に屋内体育施設、部室棟の建設を検討するため工事概算金額の算出を施設課に依頼した。</p> <p><b>3. その他</b></p> <p>[寝屋川キャンパス]</p> <p>日本ペイント(株)寝屋川事業所用地(2018年1月取得)を加えた全体のキャンパス整備計画について、バスターミナルの整備、人工芝グラウンド移設、キャンパスアメニティ、新学部校舎等の計画を検討・策定する。</p> <p>2017年3月クラブハウス竣工後、摂大交流会館から各クラブ団体</p>



<p>・ 体育館・部室棟新築等、枚方キャンパスの学修環境の充実および課外活動活性化に向けた整備計画を検討・策定する。[2016年度]</p> <p><b>【具体的指標・効果（成果検証）】</b></p> <p>[寝屋川キャンパス] 整備期間:2016～2022年度 [枚方キャンパス] 検討期間:2016年度</p>	<p>が部室の引越しを行い、2017年7月には交流会館の解体に着手する。</p> <p>[枚方キャンパス] 屋内体育施設だけでなく、2020年4月に農学部開設を構想中であり、新学部の建物・設備等を含めたキャンパス整備計画を検討・策定する。</p>
--	---

## No.2 大学・大学院の改組事業 [学長室企画課]

事業計画の目的、計画など	実績
<p><b>【必要性・目的、実施計画等】</b></p> <p>《必要性・目的》 改組検討事業 2015年に創立40周年を迎えた本学は、さらなる改革として創立50周年を見据えた成長戦略「SETSUDAI VISION 2025」を策定し、そのビジョン実現のために5つの目標を設定した。その1つが「多様な側面から課題解決に取り組む総合大学への進化」である。 社会のニーズや時代にマッチした教育体制とするべく、既設の学部・学科・コースの改組・再編を検討するとともに、学部・学科の設置や収容定員を適正な規模にしていくことを検討する。これにより、大学の改革姿勢を社会にアピールし、ブランド力の向上につなげる。</p> <p>《実施計画》 改組検討事業 ① 学部・学科の設置・再編等の検討 ② 既設学部・学科における収容定員見直しの検討 ③ 研究科・専攻の設置・再編等の検討</p> <p><b>【具体的指標・効果（成果検証）】</b></p> <p>《実施時期》 2016年度</p>	<p><b>1. 自己評価による達成度</b></p> <p>2014年度から新学部設置検討を開始し、日本ペイント(株)寝屋川事業所用地取得(2015年10月)後から約1年をかけ、2016年度は定期的に検討会を開催してきた。ワーキングメンバーの協力のもと、新学部設置検討結果(構想)をまとめた。</p> <p><b>2. 実施した施策</b></p> <p>2014年度から開始した新学部設置検討において、今年度は摂大改組等ワーキングを定期的に開催し、11月に新学部設置検討結果をまとめた。検討結果は、理系1学部、文系1学部を設置する構想である。主な計画は経営会議および理事会において報告をおこなった。具体的な計画については、2017年度に機関承認の手続きを進める。</p> <p>[2016年度 摂大改組等ワーキング開催実績] ①5/31 ②6/30 ③8/4 ④9/5 ⑤11/28 [摂南大学部長会議承認] 2/3 [経営会議報告] 2/17 [理事会報告] 2/28</p> <p><b>3. その他</b></p> <p>新学部設置検討結果(構想)の機関承認の手続きを進めるとともに「校舎等建設計画」などの準備を進めていく。</p>

## 広島国際大学: 1件

### No.1 広島国際大学2016年度大学改革事業

[企画課、庶務課、会計課、営繕課、呉庶務課、教務課、呉教務課、総合教育センター、学生課、呉学生課、入試センター、キャリアセンター、医療経営学部事務室]

事業計画の目的、計画など	実績
<p><b>【必要性・目的、実施計画等】</b></p> <p>《必要性・目的》 本学は、2013年度から健康・医療・福祉の分野における総合大学として発展していくことを定め、教育改革および、教育改革と連動した教育環境の整備、さらに通学の利便性向上などの生活環境の整備を進めてきた。その一環として2016年度からは第1次広国教育スタンダードという教育体系を導入し、多くの学科において新しいカリキュラムをスタートさせるなど、各種改革を推し進めていく。 しかしながら、大学を取り巻く環境は、年々厳しさを増しており、本学が持続的に発展していくには、より一層教職員一丸となって戦略的に改革を進めていく必要がある。 本学は2018年に開学20周年を迎えるが、その後も選ばれる大学として、継続的に発展するために、将来を見据えた、基</p>	<p><b>1. 自己評価による達成度</b></p> <p>[1] 教育改革 (1) 2018年度から順次導入する「第2次広国教育スタンダード」の概要、ならびに導入初年度の対象学科である医療栄養学部の共通教育科目のうち、スタンダード科目の教育課程表および授業の概要の作成を当初の計画どおり行った。 また、基礎学力向上の検討を目的として国家試験勉強に関するアンケート調査を一部の学科で行い、学生の自主学修の実態を把握した。 (2) 入学前後、初年次における教育の充実および基礎学力の向上を図るため、5教科基礎・基本学び直しe-learning(広国ドリル)を活用した入学前教育やリメディアル教育を実施した。 また、東広島キャンパスにおいて「Student Assistant」を活用した学修支援体制を整備した。</p>

本戦略の策定を前年度に引き続き行っていく。

### 《実施計画》

#### [1] 教育改革

専門職連携教育(IPE)をはじめ、2016年度に導入したカリキュラムの検証および、2018年度導入に向けた新カリキュラムの作成等、教育改革を推進し、魅力ある教育の仕組みを構築する。

- (1) 教育課程の再編
- (2) 入学前後、初年次教育の充実に向けた取組み
  - ・ e-learning を活用した学科・専攻のニーズにあった教育プログラムの検討
  - ・ 基礎学力の向上を図り、自学を進める能力の育成
  - ・ ICTを活用したアクティブラーニングの推進

#### [2] 教育環境整備

専門職連携教育(IPE)をさらに充実させ、学内のみならず学外(卒業生、地域住民)との連携を図ることを目的に、共に学べる教育・学習環境を整備する。

- (1) 教育のオープン化にむけたメディア授業の検討
- (2) 社会人学び直し(卒後教育)プログラムの検討

#### [3] 学生の生活環境整備

学生生活をさらに充実させるよう施設や環境の整備を行う。

- (1) 呉キャンパス3・4・8・9号館・屋外トイレの解体に伴う、既存建物への機能移行および、建物跡地の活用検討
- (2) 呉キャンパス新校舎「教育会館(仮称)」の設置による全学的教育環境の整備
- (3) 呉キャンパス薬草園の移設

### 【具体的指標・効果(成果検証)】

#### [1] 教育改革

- (1) 2016年度導入の第1次広国教育スタンダードについて検証および、第2次広国教育スタンダード(2018年度導入予定)の作成
- (2) 基礎医学教育システム、e-learning システムの充実  
講義収録配信システムの導入・数学習熟度試験の導入

#### [2] 教育環境整備

- (1) 「教育のオープン化」を行うためのWEB講座等の導入
- (2) 社会人学び直しのための講習会(専門職に関する認定資格など)および、通信教育課程(大学院通信教育コースなど)プログラム等について検討  
※生涯学修が可能となる基盤整備

#### [3] 学生の生活環境整備

- (1) 建築年数が50年(耐用年数)前後の建屋を解体し、跡地の利用について検討
- (2) 教育会館(仮称)の概要について検討
- (3) 東キャンパス(呉)の薬草園を呉学生研修棟(B棟)北側へ移設

さらに、学生の能動的な学修(アクティブラーニング)を支援し、ICTを活用した双方向型の授業・自主学修・教学システム等の運用促進、多様な教育の提供や学修環境のさらなる充実を図るため、各教室に固定カメラを設置する「講義自動収録配信システム」に係る整備計画を文部科学省「私立大学等教育研究活性化設備整備事業」に申請し、採択された。当補助金により、東広島キャンパス11室、呉キャンパス3室、広島キャンパス1室に講義自動収録配信システムを整備した。

#### [2] 教育環境整備

- (1) 講義自動収録配信システムを導入することで、授業外学修時間の提供、反転授業の促進に繋げていくための教育・学習環境を整備した。  
また、専門職連携教育(IPE)をスタンダード科目として位置づけ、学科混成グループにより実施することで、学内における「共に学べる教育・学修環境」を整備した。
- (2) 社会人学び直しのための講習会等の基盤整備を行うため、本学の同窓会組織である広島国際大学校友会と連携協力体制構築に向けて協議した。現状における課題を抽出しその対応策として卒後教育体制の整備(案)を策定した。

#### [3] 学生の生活環境整備

- (1) 3・4・8・9号館・屋外トイレの解体に伴う、既存建物への機能移行を全て完了した。また、3・4号館跡地に教育会館(仮称)を新築する計画ならびに8・9号館・屋外トイレ跡地を憩いの広場として整備する計画を策定した。
- (2) 基本設計に向けて、設置する建物内の施設およびその目的等の全体計画を策定した。
- (3) 移設元に設置されている呉東キャンパスの施設の運用計画を考慮し、移設時期を2016年度から2017年度に変更することとした。

## 2. 実施した施策

#### [1] 教育改革

- (1) 第1次広国教育スタンダードにおける共通教育科目・スタンダード科目の見直し、ならびに2018年度から当科目の導入を予定している医療栄養学部のスタンダード科目の教育課程表および授業の概要の作成を行った。
- (2) 5教科基礎・基本学び直しe-learning(広国ドリル)を活用した入学前教育やリメディアル教育の実施、およびStudent Assistantを活用した学修支援体制の整備(東広島キャンパス)、ならびに私立大学等教育研究活性化設備整備事業による講義自動収録配信システムの3キャンパスへの整備を行った。また、基礎医学教育システム導入に向けて総合教育センターへ「医学教育推進部門」の設置を検討し、2017年度より設置することとした。

#### [2] 教育環境整備

- (1) 私立大学等教育研究活性化設備整備事業による講義自動収録配信システムを3キャンパスに整備し、また、第1次広国教育スタンダードの新カリキュラムに基づく同日・同時限の学科混成グループによる専門職連携教育(IPE)を実施した。
- (2) 大学と卒業生との連携を目的とした卒業生へのヒアリングおよび各学科(専攻)で今後実施される予定の卒後教育についての調査を行い、実態を把握した。また、広島国際大学校友会と連携協力体制構築に向けて協議し、卒後教育体制の整備(案)を策定した。

#### [3] 学生の生活環境整備

- (1) 解体建物から既存建物への機能移行を行うと共に、8・9号館・屋外トイレ解体跡地の整備計画を策定した。
- (2) 「教育会館(仮称)」の整備計画を策定した。
- (3) 移設先を呉学生研修棟(B棟)北側から呉キャンパス6号館西側駐車場に変更することとし、移設時期を2016年度から2017年度に変更した。

	<h3 style="background-color: #e0e0ff;">3. その他</h3> <p>[1] 教育改革</p> <p>(1) 2018年度より第2次広国教育スタンダードが導入される医療栄養学部へ続き、2019年度以降に導入が予定されているその他の学科の教育課程表および授業の概要についても作成を進める。 また、初年次教育の充実に向け、現状の入学前教育の見直し、基礎学力向上を図るための構想案の策定、ICTを活用したアクティブラーニングの推進を進める。</p> <p>(2) 「Student Assistant」について、東広島キャンパスでの運用状況を踏まえ、今後は呉キャンパス導入による全学的な取組みに向けて検討する。 また、ICTを活用した多様な教育の提供や、学修環境の充実を図るため、講義自動収録配信システムの運用状況の検証を行い、今後の拡張整備について検討する。</p> <p>[2] 教育環境整備</p> <p>(1) 講義自動収録配信システムの拡張整備により、収録された講義を、いつでも、どこでも視聴できる学修環境の整備を進め、国家試験対策や授業前後の主体的な学修(予習・復習)への活用、さらに授業外学修時間の確保、反転授業の促進につなげる。</p> <p>(2) 大学と校友会の連携の強化、校友会活動の活性化を図るため、校友会と各学科・専攻の同窓生を繋ぐ窓口(大学組織)の設置を検討し、卒業生を含めたフォローアップの内容と手段を具体化する。</p> <p>[3] 学生の生活環境整備</p> <p>(1) 8・9号館・屋外トイレの解体跡地について、2017年度中の竣工を目標とし、基本設計が完了次第実施設計に移行する。</p> <p>(2) 「教育会館(仮称)」について、耐震診断結果の確認により防災機能等強化緊急特別推進事業(文部科学省 補助金)への申請要件が確認でき次第、基本設計・実施設計に移行する。</p> <p>(3) 呉キャンパス薬草園について、2017年度中に東キャンパス(呉)から呉キャンパス6号館西側駐車場への移設を完了させる。</p>
--	---

## 常翔中学・高校:1件

### No.1 ICT教育推進事業 [高校教頭、事務室]

事業計画の目的、計画など	実績
<p style="background-color: #e0e0ff;"><b>【必要性・目的、実施計画等】</b></p> <p>《必要性・目的》</p> <p>ICT教育は文部科学省などの方針を受けて、昨今急速に各学校に整備が進められている。すでに大阪市では、公立小中学校においてICT教育モデル校が選出され、今後全校に展開される予定である。これら教育を身に付けた児童・生徒が、今後本校に進学してくることは必至で、本校として対応していないでは済まされない。また、本校の競合校である近畿大学附属中学校・高等学校や、上位校である同志社中学校・高等学校、立命館宇治中学校・高等学校でもすでにICT教育が展開されており、本校が今後生き残っていくためには、ICT環境の導入および整備が急務である。</p> <p>《実施計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費(補助金)申請:4月</li> <li>・ICT教育推進プロジェクトの継続:1~2回/月</li> <li>・一部教員によるタブレット端末を使用した授業展開:5月~</li> <li>・生徒用、教員用タブレット端末購入および無線アクセスポイント設置:補助金認可後(9月頃)</li> <li>・新中学1年生を中心とした、ICT教育の実践:9月~</li> </ul>	<p style="background-color: #e0e0ff;"><b>1. 自己評価による達成度</b></p> <p>私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費に関しては、手探りの状況であったが、期限内に申請が完了した。全国の多くの学校からも申請が殺到した模様で、採択の決定が遅れ補助金も圧縮されたが、概ね満足のいくものであった。その後直ちに生徒用タブレット端末の手配や無線アクセスポイント工事にかかり、無事本年10月からタブレット端末を用いての授業を開始できたことは評価したい。</p> <p>また工事終了後、これらハード面の整備を受け、2017年度早々から新入生に対して本格的にICT教育を実践するべく、教員で研修・研鑽を重ねた。</p> <p style="background-color: #e0e0ff;"><b>2. 実施した施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費(補助金) :4月 申請 :6月 採択 獲得金額:15,830,000円</li> <li>・ICT教育推進プロジェクト会議:4月~3月 計12回実施</li> <li>・一部教員によるタブレット端末を使用した授業展開開始:5月 15名の教員がタブレット端末の画像をスクリーンに投影する等の授業を開始(生徒はタブレット端末を所持していないため、一方通行の授業)</li> <li>・生徒用、教員用タブレット端末購入および無線アクセスポイント設置完了:9月</li> </ul>

<b>【具体的指標・効果（成果検証）】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費（補助金）獲得</li> <li>・ICT教育推進プロジェクト会議報告書の作成および校務会での報告</li> <li>・ICT教育開始後の評価、反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生の教室に、ICT教育用プロジェクタ設置：8月（3台）、3月（1台）</li> <li>※ 2017年度入学生が4クラス編成となったため、1台追加設置</li> <li>・全教員にタブレット端末配付及び使用に関する研修会開催：10月</li> <li>・中学1年生を中心とした、ICT教育の実践：10月</li> <li>生徒にタブレット端末を貸与し、双方向の授業を開始</li> </ul>
	<b>3. その他</b> <p>[2017年度の予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年度新入生購入用タブレット手配済</li> <li>・ICT教育推進プロジェクト会議の継続：1～2回／月</li> <li>・教員向けICT教育研修会・講演会開催：1回／月程度</li> <li>・タブレット端末を利用した授業研修会（有志）：2～3回／月</li> <li>・常翔ICT新聞の発行：1～2回／月</li> <li>・私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費現地調査：3月済</li> <li>・2017年度私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費申請：4月予定</li> <li>・2017年度高校1年生用プロジェクタ設置：8月予定</li> </ul>

## 常翔啓光中学・高校：1件

### No.1 ICT教育推進事業 [教頭、教務部、事務室]

事業計画の目的、計画など	実績
<b>【必要性・目的、実施計画等】</b> <p>《必要性・目的》</p> <p>「2010年代中に1人1台の情報端末による教育」を推進するなど、タブレット等の情報端末を活用した教育の推進が日本の新しい教育制度の大命題となっている。公立の小・中学校でこの教育を受けてきた生徒を受け入れるためにも、本校のICT教育推進は必要不可欠なものである。</p> <p>また大学入試センター試験に代わる新テストでは、出題・解答・結果提供方式においてCBT-IRTを導入する方向で検討されている。この状況から考えても、各教科でも情報端末を有効利用した教育の推進が求められている。</p> <p>このため、2015年度中に試行実施のための導入計画を立てて検証を行った結果をもとに、2016年度中に教室等の施設改修ならびに本格システム導入を完了させて試行授業を行ったうえで、2017年4月からの本格的活用の開始を目指す。</p> <p>《実施計画》</p> <p>2015年度中に実施済みの内容は以下の通りであり、これらの検証結果を基に2016年度の事業を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ICT教育推進WG」を発足（2015年10月） 構成員：教職員から選抜（校務の一環として実施） 期 間：2015年10月～2017年3月（予定）</li> <li>・ICT教育実践校の視察（2015年9月～2016年3月） 目 的：ICT 教育実践校の視察、情報収集。ICT を活用した学習サポートパッケージの選定。</li> <li>・本校施設設備改修工事 校内手続および工事完成：第1次（教職員用）手続き2015年11月、完成2016年3月</li> </ul> <p>2016年度実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校施設設備改修工事 校内手続および工事完成：第2次（生徒用）手続き2016年5月、完成2016年12月（予定） ※ 教室など生徒用部分については大阪府の補助金対象事業として実施する。</li> <li>・ICT教育実践校の視察および研修への参加（2016年4</li> </ul>	<b>1. 自己評価による達成度</b> <p>計画どおりに進んだ。Wi-Fi環境や電子黒板機能付きプロジェクタの設置に加え、デジタル教科書の購入も含めた様々な環境整備が整ってきた2学期以降は、ICT機器を活用した授業を展開する教員が増えてきている。全国的に教育改革が進んでいる中、本校においてもその意識が芽生え、積極的に取り組む風土ができてきている。</p> <p>合わせて生徒が主体的に学ぶような授業展開の研究と、年間授業計画への反映がなされている。</p> <p>2017年度は大阪府の補助金対象事業として、生徒貸与用タブレットの購入を計画している。採択されれば、本校のICT教育はさらに充実していくと確信する。</p>
	<b>2. 実施した施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの購入 2017年からの本格導入に向けて、タブレット機種を選定のために、2種類の候補機種（Surface 15台、iPad 10台）を購入した。両機種を授業の中で試用しながら、機種選定が完了した。</li> <li>・本校施設設備改修工事 教室など生徒用部分について、大阪府の補助金対象事業として、夏期休業期間中に実施した。この結果、1号館すべての教室においてWi-Fi環境が整備された。同時に中学と高1学年の教室に電子黒板機能付きプロジェクタも設置し、2学期からタブレットなどICT機器を活用しての本格的な授業展開が可能となった。</li> <li>・デジタル教科書の購入とそれを活用した授業 デジタル教科書と電子黒板機能付きプロジェクタを活用することにより、いわゆる“Chalk &amp; Talk”と異なる21世紀型授業の展開が始まった。</li> <li>・私立高等学校等IT教育設備整備推進事業費（補助金） ：4月 申請 ：6月 採択 獲得金額：9,798,000円</li> </ul>
	<b>3. その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員用タブレットの購入 ICT機器の積極的活用を推進するために、教員1人1台のタブレットを購入し配付した。これによりペーパーレス化を進め、経費削減の</li> </ul>

<p>月～2017年3月)          目的: ICT 教育実践校の視察および情報収集。          ICT を活用した学習に関する研修会・講習会への参加。          ・ 2017年度当初予算への組込</p>	<p>手段のひとつとする。          (2017年度の前定)          ・ 本校施設設備改修工事          来年度高2学年が使用するフロアの教室に、電子黒板機能付きプロジェクタを設置する。          ・ 生徒貸与用タブレットの購入          タブレットを1人1台持たせることの検討は引き続き行うが、生徒貸与用のタブレットを購入し、授業の中で活用する。</p>
<p><b>【具体的指標・効果（成果検証）】</b></p>	
<p>1. ICT 教育システムの導入による授業内容の改善、生徒の勉学意識の変革、課題解決型授業への展開、新大入試制度への対応、校内の情報環境の整備。          2. 能動授業、協働学習、反転授業、適応学習、探求型学習など新しい学習体系に向けての活用。</p>	

## 3. 各学校の組織の改編

### (1) 新設・改組等変更

#### ■ 大阪工業大学

なし

#### ■ 摂南大学

##### 1. 研究科設置 [2016年度開設]

看護学研究科 看護学専攻 修士課程 (入学定員: 6人、収容定員: 12人)

[本件にかかる手続] 設置認可申請(2015年3月提出)

##### 2. 博士後期課程設置 [2016年度開設]

理工学研究科 生命科学専攻 博士後期課程 (入学定員: 2人、収容定員: 6人)

[本件にかかる手続] 課程変更認可申請(2015年3月提出)

##### 3. 定員変更 [2016年度変更]

###### ・ 大学院

法学研究科 法律学専攻 修士課程

入学定員: 15人、収容定員: 30人 → 入学定員: 5人 (△10)、収容定員: 10人 (△20)

国際言語文化研究科 国際言語文化専攻 修士課程

入学定員: 10人、収容定員: 20人 → 入学定員: 5人 (△5)、収容定員: 10人 (△10)

[本件にかかる手続] 学則変更届出(2015年12月提出)

###### ・ 学部

理工学部

生命科学科

入学定員: 80人

編入学定員: 5人

収容定員: 330人

→ 入学定員: 90人 (+10)

編入学定員: 5人

収容定員: 370人 (+40)

住環境デザイン学科

入学定員: 60人

編入学定員: 5人

収容定員: 250人

→ 入学定員: 70人 (+10)

編入学定員: 5人

収容定員: 290人 (+40)

建築学科

入学定員: 60人

編入学定員: 5人

収容定員: 250人

→ 入学定員: 70人 (+10)

編入学定員: 5人

収容定員: 290人 (+40)

電気電子工学科

入学定員: 80人

編入学定員: 5人

収容定員: 330人

→ 入学定員: 90人 (+10)

編入学定員: 5人

収容定員: 370人 (+40)

都市環境工学科

入学定員: 60人

編入学定員: 5人

収容定員: 250人

→ 入学定員: 70人 (+10)

編入学定員: 5人

収容定員: 290人 (+40)

経営学部

経営学科

入学定員: 145人

編入学定員: 4人

収容定員: 588人

→ 入学定員: 170人 (+25)

編入学定員: 4人

収容定員: 688人 (+100)

経営情報学科

入学定員: 115人

編入学定員: 4人

収容定員: 468人

→ 入学定員: 100人 (△15)

編入学定員: 4人

収容定員: 408人 (△60)

法学部

法律学科

入学定員: 220人

編入学定員: 5人

収容定員: 890人

→ 入学定員: 250人 (+30)

編入学定員: 5人

収容定員: 1010人 (+120)

経済学部  
経済学科 入学定員：220人 編入学定員：4人 収容定員：888人  
→ 入学定員：250人（+30） 編入学定員：4人 収容定員：1008人（+120）

〔本件にかかる手続〕 学則変更認可申請（2015年3月提出）

## ■ 広島国際大学

### 1. 収容定員変更〔2016年度変更〕

#### ・学部

医療福祉学部 医療福祉学科 入学定員：120人、 編入学定員：10人、 収容定員：500人  
→ 入学定員：100人（△20） 編入学定員：10人、 収容定員：420人（△80）  
医療経営学部 医療経営学科 入学定員：140人 収容定員：560人  
→ 入学定員：90人（△50） 収容定員：360人（△200）

〔本件にかかる手続〕 学則変更届出（2015年4月）

## (2) 申請・届出等

## ■ 大阪工業大学

### 1. 研究科等設置〔2017年度開設〕

#### ・研究科設置

大学院 ロボティクス&デザイン工学研究科  
ロボティクス&デザイン工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：30人、収容定員：60人 博士後期課程：入学定員2人、収容定員：6人)

〔本件にかかる手続〕 設置届出（2016年4月提出）

#### ・専攻設置

大学院 工学研究科  
建築・都市デザイン工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：30人、収容定員：60人 博士後期課程：入学定員2人、収容定員：6人)  
電気電子・機械工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：50人、収容定員：100人 博士後期課程：入学定員2人、収容定員：6人)  
化学・環境・生命工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：30人、収容定員：60人 博士後期課程：入学定員2人、収容定員：6人)

〔本件にかかる手続〕 設置届出（2016年4月提出）

### 2. 学部設置〔2017年度開設〕

ロボティクス&デザイン工学部  
ロボット工学科 (入学定員：90人、3年次編入学定員：5人、収容定員：370人)  
システムデザイン工学科 (入学定員：90人、3年次編入学定員：5人、収容定員：370人)  
空間デザイン学科 (入学定員：100人、3年次編入学定員：5人、収容定員：410人)

〔本件にかかる手続〕 設置届出（2016年4月提出）

### 3. 学生募集停止〔2017年度停止〕

#### ・大学院

工学研究科  
都市デザイン工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：15人、収容定員：30人 博士後期課程：入学定員3人、収容定員：9人)  
環境工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：10人、収容定員：20人 博士後期課程：入学定員3人、収容定員：9人)  
建築学専攻  
(博士前期課程：入学定員：15人、収容定員：30人 博士後期課程：入学定員3人、収容定員：9人)  
機械工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：25人、収容定員：50人 博士後期課程：入学定員5人、収容定員：15人)  
生体医工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：20人、収容定員：40人 博士後期課程：入学定員4人、収容定員：12人)  
電気電子工学専攻  
(博士前期課程：入学定員：25人、収容定員：50人 博士後期課程：入学定員3人、収容定員：9人)  
応用化学専攻  
(博士前期課程：入学定員：15人、収容定員：30人 博士後期課程：入学定員3人、収容定員：9人)  
空間デザイン工学専攻

(博士前期課程：入学定員：10人、収容定員：20人 博士後期課程：入学定員3人、収容定員：9人)

※在学生の修了等を待って廃止予定。

[本件にかかる手続] 学生募集停止報告(2016年4月提出) ※ 学則変更届出(2016年3月提出済)

・学部

工学部

空間デザイン学科 (入学定員：90人、3年次編入学定員：5人、収容定員：370人)

ロボット工学科 (入学定員：80人、3年次編入学定員：5人、収容定員：330人)

※3年次編入学募集停止は2019年4月予定。

※在学生の卒業等を待って廃止予定。

[本件にかかる手続] 学生募集停止報告(2016年4月提出) ※ 学則変更届出(2016年3月提出済)

■ 摂南大学

なし

■ 広島国際大学

1. 学生募集停止 [2017年度停止]

・大学院

工学研究科

建築・環境学専攻 (修士課程：入学定員：5人、収容定員：10人)

情報通信学専攻 (修士課程：入学定員：5人、収容定員：10人)

※在学生の修了等を待って廃止予定。

[本件にかかる手続] 1) 学生募集停止報告(2016年8月提出)

2) 学則変更届出(2016年11月提出)

2. 廃止手続き [2017年3月廃止]

・学部

工学部

建築学科(2011年度から学生募集停止)

住環境デザイン学科(2013年度から学生募集停止)

[本件にかかる手続] 学則変更届出(2017年3月提出)

■ 常翔啓光学園高等学校

1. 収容定員変更 [2017年度変更]

収容定員：1,200人、→1,440人(+240)

[本件にかかる手続] 学則変更認可申請(2016年6月提出)

(3) 年次進行中(未完成)の学部等

大学名称	申請学部等	申請区分	開設年度
大阪工業大学	—	—	—
摂南大学	大学院 理工学研究科 生命科学専攻(D)	認可	2016
	大学院 看護研究科 看護学専攻(M)	認可	2016
広島国際大学	保健医療学部 医療技術学科	届出	2013
	総合リハビリテーション学部		
	リハビリテーション学科	届出	2013
	リハビリテーション支援学科		
	医療栄養学部 医療栄養学科	認可	2014
	心理学部 心理学科	届出	2015

## 4. 各部門の事業報告

### ■ 大阪工業大学

- 2016年 2月～2017年 2月  
学内合同企業説明会(大阪府雇用開発協会、兵庫県雇用開発協会、大阪工業大学校友会、学園校友課、オムロン パーソネル等と連携)、企業の単独説明会を実施。(就職課)
- 2016年 4月～2017年 2月  
年6回以上の出席不振者に対する「学修指導」により、除籍・退学率が前年度より0.34ポイント改善。(情報科学部)
- 2016年 4月～2017年 2月  
公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受審し、大学評価基準に適合していると認定。(企画課)
- 2016年 4月～2017年 2月  
グランフロント大阪ナレッジキャピタル「The Lab.」内の展示ブースに参画し、インテリア、プロジェクションマッピングなどのロボティクス&デザインに関連した作品等を6点展示。(梅田キャンパス開設準備室)
- 2016年 4月～2017年 2月  
海外協定校からの学生を60人受入。学生はそれぞれ、特別履修生としての授業履修、研修プログラムへの参加、研究室に配属し教員の指導のもとインターン・研究活動、いずれかに従事。(国際交流センター)
- 2016年 4月～2017年 2月  
学生プロジェクト「スマラボ」が「うめきた さんすうえいご教室」などを年に6回以上開催。地域に根付く教育を展開。(情報科学部)
- 2016年 5月、9月～10月  
①「第48回守口市こどもまつり」に参加協力。②守口市主催の市民教養講座で「淀川と人間」(全4回)を開講。(地域連携センター)
- 2016年 6月  
実験実習を通じて理科の楽しさを体験するとともに親子の絆を深めるため、連携協定を締結している奈良県川上小学校で「親子理科教室」を実施。(地域連携センター)
- 2016年 6月～2017年 2月  
海外ラボ体験:台北科技大と学生10人を相互受入。国際PBL(派遣):海外6大学にて7プロジェクト実施、82人派遣。国際PBL(受入):海外2協定校との3プロジェクト実施(うち1つはJSTさくらサイエンスプランによる支援)、学生40人受入。(国際交流センター)
- 2016年 6月～ 9月  
大阪府立工科高校(今宮工科、茨木工科、淀川工科)との連携協定に基づき、1年生を対象に大学体験、2年生を対象に研究室体験、3年生を対象に課題研究支援を実施。(入試部)
- 2016年 7月  
「NHK学生ロボコン2016～ABUアジア・太平洋ロボコン代表選考会～」にロボットプロジェクトチーム「大工大エンジュニア」が参加。ベスト8入賞とともに、アイデア賞とパナソニックシステムネットワークス社特別賞を受賞。(工学部)
- 2016年 7月  
サンデー毎日7月31日号「全国240大学実就職率ランキング卒業業者数1000人以上」において、全国ランキング7位。7年連続関西私立大学実就職率No.1を達成。(就職課)
- 2016年 7月～ 8月  
私立大学等改革総合支援事業 タイプ1「教育の質的転換」、タイプ2「地域発展」、タイプ3「産業界・他大学との連携」に選定。(会計課)
- 2016年 7月～ 9月  
IAESTE(受入):ハンガリーとチェコから1人ずつ約2カ月、ものづくりセンターに受入。IAESTE(派遣):学生1人を約1ヵ月半、マケドニアの大学に派遣。また、2017年度のIAESTE派遣に学生1人を応募支援し、合格。(国際交流センター)
- 2016年 7月～2017年 2月  
海外研究支援プログラムにて学生30人派遣、うち18人はJASSO海外留学支援制度による支援、1人は文部科学省「トビタテ!留学JAPAN」による支援。学生は北米、欧州、アジアの大学等20機関で、一部特例を除き1カ月から5カ月程度の研究活動に従事。(国際交流センター)
- 2016年 8月  
保護者を対象とした、就職支援セミナー「教育懇談会～家族ができる就職支援～」を開催。234組342人の保護者が参加。(企画課)
- 2016年 8月  
「工作・実験フェア2016」を開催。教員・学生によって企画・実施し、約4,600人の小学生とその家族が参加。(工学部)
- 2016年 8月～ 9月  
学部3年次、大学院1年次のインターンシップを実施。153企業・団体に237人の学生が参加し、参加数は過去最高となった。また、海外インターンシップとしてアメリカの企業へ2人の学生が参加。(就職課)
- 2016年 8月、11月  
大阪府教育委員会などが開催する「大阪中学生サマー・セミナー」で3講座、「大学・専修学校等オープン講座」で4講座、「教文こどもサイエンスフェア」で2講座、「おおさかもものづくりコレクション」で1講座を開講。(地域連携センター)
- 2016年 8月～2017年 2月  
語学研修プログラム、文化体験プログラムにて、海外の協定校4校や提携する語学学校3校に、夏期21人、春期21人、計42人の学生を派遣。(国際交流センター)
- 2016年 9月～12月  
梅田キャンパスのオープンキャンパス、見学会を実施(延べ1,261人参加)。ロボティクス&デザイン工学部の学びの内容やキャンパスの魅力を受験生や保護者、高校教員等に紹介。(入試部)
- 2016年10月  
「まちデコール」(御堂筋を中心とした大阪市内のエリアに店舗を構えるインテリアや建材のショッパなど)を会場として



- 開催するデザインイベント)に参加し、ユニクロ大阪で産官学連携イベントを実施した他、ショールームでタイルアートを展示。(地域連携センター)
- 2016年10月 国際PBL「米国インターンシップ・プログラム」を実施し、学部生・研究科院生の5人が参加。サンフランシスコ/シリコンバレーの企業や法律事務所などを訪問。(知的財産学部)
- 2016年10月 城北祭期間中、図書館大宮本館で特別企画展「未来の図書館展」を開催。文化会空間デザイン研究部による模型展示やワークショップを実施。544人が来場し、工学部長賞を受賞。(図書館)
- 2016年10月～11月  
普通科高校現役生を対象とした、「普通科高校特別推薦入試」を新規実施。高大接続改革の大きなテーマである「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する選抜を導入。(入試部)
- 2016年10月～12月  
「工大らしさ」をテーマにブックカバー、しおり、POPを作成する「工大ウォッチング大賞」を実施。城北祭、北山祭で全作品を展示し、後日、淀ビスタでも展示。大賞・優秀賞を受賞したブックカバーは館内で配布。(図書館)
- 2016年10月～2017年 1月  
大学院学内奨学金制度を改正し、学内進学者への支援を強化(2018年度採用者から適用)。(学生課)
- 2016年10月～2017年 2月  
本学課外活動団体「ボランティア・Link」が、熊本地震復興支援活動を展開。4回にわたり継続的に「物産展」を開催し、売上全額を義援金として日本赤十字社へ寄付。(学生課)
- 2016年11月 「知財活用アイデアコンテスト(関西大会)」に知財PR隊プロジェクトの学生チームが参加。最優秀賞と優秀賞をダブル受賞。(知的財産学部)
- 2016年11月 「化学・環境・生命工学連携融合公開講座」を開催。2017年 4月から、新たにスタートする工学研究科 化学・環境・生命工学専攻の学びを広く発信することを目的に実施し、約100人が参加。(工学部)
- 2016年11月～2017年 2月  
2016年10月にOIT梅田タワー竣工。11月～2月にかけて新規備品等の搬入が完了し、3月に新学部教員の引越しを実施。(会計課)
- 2016年11月～2017年 2月  
会員数約25万人のschooを利用し、ロボットサービスを創出できる人材育成を目的とした基礎講座を5回実施。2017年2月21日時点での生放送、録画、YouTubeの動画再生回数は合計で2,583回。(梅田キャンパス開設準備室)
- 2016年12月 「第2回建築都市逍遥講座」を開催。工学部建築学科・都市デザイン工学科が企画。外部講師を招き、学内外から定員の200人超が参加。(工学部)
- 2016年12月～2017年 2月  
枚方キャンパスのグラウンドの再開発(ラグビー場:天然芝化、サッカーグラウンド:野球系のゲージ設置)を実施。大宮キャンパスを含めた課外活動団体が有効活用するための設備を整備。(学生課)
- 2017年 2月 「平成28年度社会人基礎力育成グランプリ」決勝大会に工大工学部チームが出場。審査員特別賞と協賛企業特別賞を受賞。(工学部)
- 2017年 2月 工学部応用化学科が新たな国際交流プログラム「3カ国国際PBLプログラム」を実施。3年生7人が台湾・インドネシアの学生とともに3カ国交流プログラムに参加。(工学部)
- 2017年 2月 本学と愛知工大、芝浦工大、広島工大、福岡工大が理工系人材育成の促進を目指した「工大サミット」創設についての発表会を梅田キャンパスで開催。発表会終了後、本学と芝浦工大が教育・研究における包括連携協定を締結。(企画課)
- 2017年 2月 平成28年度私立大学等教育研究活性化設備整備事業補助金にて整備した教室(大宮キャンパス752教室)で、アクティブラーニングを通じて英語力の向上を図る「PBL準備講座模擬演習ワークショップ」(LLC主催)を実施。(教務課)

## ■ 摂南大学

- 2016年 4月 学部・学科の垣根を越えて学ぶ「ソーシャル・イノベーション副専攻課程」を新設。(教務課)
- 2016年 4月 寝屋川市立石津小学校の社会科地域学習「わたしたちの町のようすを知ろう」に学生・教職員が協力。(地域連携センター)
- 2016年 4月 経営情報学科2教員が大府警から「サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー」に任命。(経営学部)
- 2016年 5月 学生「なんでもやる隊」が和歌山県すさみ町で「イノブータン王国建国祭」を盛り上げる。(地域連携センター)
- 2016年 5月 理工学部公開国際講演会・住環境デザインフォーラムを開催。(理工学部)
- 2016年 5月～ 6月  
震災復興を願い気仙沼市特産メカジギを使ったカレー「メカカレー」を学生らが提案。大学食堂で販売。(経済学部)
- 2016年 6月 法学部特別講演会を開催。(法学部)
- 2016年 6月～2017年 1月  
交野市教育委員会との共催で「中学生サイエンスラボ」を開催。(理工学部・地域連携センター)
- 2016年 6月 災害時、枚方キャンパスを警察拠点に。京都府八幡警察署と協定締結。(枚方事務室)
- 2016年 6月 株式会社ロフトと産学連携協力に関する包括協定締結。(教務課・地域連携センター)
- 2016年 6月 基礎理工学機構講演会を開催。(理工学部)
- 2016年 6月 「常翔学園3大学体育会課外活動団体交流戦」を開催。(学生課)
- 2016年 6月 京セラドーム大阪でホームカミングディ「All 摂南大学 Day」を開催。(企画課)
- 2016年 6月 生命科学科教員がJST(国立研究開発法人科学技術振興機構) マッチングプランナープログラム「企業ニーズ解決試験」に採択。(研究支援センター)
- 2016年 6月 在大阪イタリア総領事が学長表敬訪問と講演を実施。(経済学部)
- 2016年 7月 全学フォーミュラならびにPBLミニ鉄道プロジェクト活動報告会を開催。(理工学部)
- 2016年 7月 大規模災害発生時を想定した防災訓練を実施。(枚方事務室)

- 2016年 7月 薬学部内「臨床研究センター」設立を記念してシンポジウムを開催。(薬学部)
- 2016年 7月 学生が交野市「星田妙見宮」ガイドツアーを実施。(外国語学部)
- 2016年 7月 学生が寝屋川市立桜小学校の「臨海学校」をサポート。(外国語学部)
- 2016年 8月 災害を想定した京都府八幡警察署の機能移転訓練を実施。(枚方事務室)
- 2016年 8月 大学発「知」の見本市「イノベーション・ジャパン2016」に機械工学科・電気電子工学科の2教員が出席。  
(研究支援センター)
- 2016年 8月～ 9月 学生アイデアによる企画を梅田ロフトの売り場で実現。(教務課)
- 2016年 9月 学生が和歌山県由良町民と観光産業振興に関するワークショップを開催。(地域連携センター)
- 2016年 9月 理工学研究科大学院生が技術研究発表会で優秀発表賞を受賞。(理工学部)
- 2016年 9月 第2回アクティブラーニング研究会を開催。(教務課)
- 2016年 9月 学生が「産学連携ツーリズムセミナー」で和歌山県由良町での調査結果を発表し、2位を受賞。(経済学部)
- 2016年 9月 学生が和歌山県由良町で「小・中学生学習支援会」を開催。(地域連携センター)
- 2016年10月 スポーツ振興センター教員が「柔道の形」で5度目の世界一を達成。(学生課)
- 2016年10月 学生グループ考案「カレーに乗せてはいけない福神漬け」を大学祭で販売。(経営学部)
- 2016年10月 融合化学研究所が研究講演会を開催。(理工学部)
- 2016年10月 和歌山県由良町長から学生に感謝状贈呈。(経済学部)
- 2016年10月 薬学部附属薬用植物園で「秋の薬草見学会」を開催。(薬学部・地域連携センター)
- 2016年11月 駐日スロバキア共和国特命全権大使が学長表敬訪問と講演を実施。(経済学部)
- 2016年11月 外国語学部生が「ディズニー国際カレッジ・プログラム」選考に合格。(外国語学部)
- 2016年11月 2016年度FDフォーラムを開催。(教務課)
- 2016年11月 寝屋川消防署と合同防災訓練。留学生も加わり「やさしい日本語」での緊急放送も実施。(庶務課)
- 2016年11月 税に関する講演会を開催。(法学部)
- 2016年11月 建築学科第2回建築デザインフォーラムを開催。(理工学部)
- 2016年11月 「常翔学園3大学文化会課外活動団体交流会」を開催。(学生課)
- 2016年11月 外国語学部教員研究力向上セミナーを開催。(外国語学部)
- 2016年11月 摂南大学・産学公民地域連携フォーラムを開催。(理工学部)
- 2016年11月 経営学科生が公認会計士試験に合格。在学中の合格は大学初。(経営学部)
- 2016年12月 地域医療研究センターとの共催で看護学研究科公開講座を開催。(看護学部)
- 2016年12月 摂南大学グローバルFDフォーラムを開催。(教務課・国際交流センター)
- 2016年12月 和歌山県由良町で観光産業振興に関する「第3回住民ワークショップ」と「モニターツアー」を実施。  
(地域連携センター)
- 2016年12月 第12回英語教育フォーラムを開催。(外国語学部)
- 2016年12月 2016年度第40回体育会総会を開催。(学生課)
- 2017年 1月 ラグビー部員が男子セブンス日本代表強化合宿に練習生として召集。(学生課)
- 2017年 1月 さかなクンを招いて特別講演会「いのちを支える自然の力！～海と環境の話～」を開催。(企画課)
- 2017年 1月 第2回数理セミナーを開催。(理工学部)
- 2017年 2月 学生「なんでもやる隊」が和歌山県すさみ町で「大学のふるさと」活動を展開。(地域連携センター)
- 2017年 2月 法学部が協力し大阪府防犯協会連合会・大阪府警察本部主催「大阪学生安全・安心ボランティア交流会」を開催。  
(法学部)
- 2017年 2月 電気電子工学科2教員が枚方市医療産業連携勉強会で研究成果を発表。(研究支援センター)
- 2017年 2月 関西工学教育協会研究集会「企業と大学による産学連携型インターンシップの可能性」を開催。(理工学部)
- 2017年 2月 薬学部・看護学部生が和歌山県由良町で健康チェックやエコノミークラス症候群予防体操など「アクティブエイジング健康講座」を開催。(薬学部・看護学部・地域連携センター)
- 2017年 2月 吹奏楽・ラグビー部員らがボランティア参加、陸上部員がランナー参加し「寝屋川ハーフマラソン2017」を盛り上げる。  
(学生課)
- 2017年 2月～ 4月 大阪市立住まいのミュージアムとの共催で「浪花の大ひな祭りー浪花の豪商の雛道具展」を開催。(外国語学部)
- 2017年 3月 学生5名が「ひらかた魅力発信コンテスト」「ひらかたの未来SOUZOU事業」で賞を受賞。(地域連携センター)
- 2017年 3月 日本語修得を目指す外国人留学生向け冊子「日本語プログラム」(日本語・英語対訳)を発刊。(国際交流センター)
- 2017年 3月 2016年度摂南大学研究助成「Smart and Human 研究助成金」成果発表会を開催。(研究支援センター)
- 2017年 3月 関西ラグビーフットボール協会が関西学生代表を結成。ラグビー部員2名がニュージーランド遠征メンバーに選出。  
(学生課)
- 2017年 3月 理工学部FDフォーラムを開催。(理工学部)
- 2017年 3月 第11回寝屋川ラグビーフェスティバルを開催。子どもから大人まで約1,500人が参加。(学生課)
- 2017年 3月 看護学部第2期生全員が助産師・看護師国家試験に合格。助産師・看護師とも2年連続100%を達成。(看護学部)
- 2017年 3月 住環境デザイン学科第7回住環境フォーラムを開催。(理工学部)

## ■ 広島国際大学

- 2016年 4月 広国DAY「IPE・就業力育成プログラム共同開催講演会」を開催。(総合教育センター、キャリアセンター)
- 2016年 5月～12月 ひろしまカレッジ「サテライトカレッジ・シティカレッジ・大学で開講する公開講座」を実施。  
(医療福祉学部、心理学部、医療経営学部、実践臨床心理学専攻、地域連携センター)
- 2016年 5月～2017年 3月

- 公開講座「咲楽塾」(前期・後期)を実施。  
 (保健医療学部、総合リハビリテーション学部、医療福祉学部、工学部、薬学部、医療経営学部、看護学部、助産学専攻科、地域連携センター)
- 2016年 6月 海外教育機関との提携協定を締結(台湾・中台科技大学)。(医療福祉学部、国際交流センター)
- 2016年 6月 呉地域オープンカレッジネットワーク会議「公開講座」助成事業採択。(保健医療学部、地域連携センター)
- 2016年 6月 呉地域オープンカレッジネットワーク会議「学生の夢実現プロジェクト」助成事業採択。(薬学部、地域連携センター)
- 2016年 7月～9月 広島国際大学健康レシピコンテスト「地産地消定食」を実施。(医療栄養学部)
- 2016年 7月～8月 子ども向け体験講座(職業・科学・ものづくり体験)を実施。  
 (保健医療学部、総合リハビリテーション学部、医療福祉学部、心理学部、看護学部、薬学部、医療栄養学部、実践臨床心理学専攻、地域連携センター)
- 2016年 7月～8月 「PEACEプロジェクト2016～つなぐ、平和への願い～」を実施。(医療経営学部事務室)
- 2016年 7月～11月 第4回こころからの手紙コンテストを実施。(入試センター)
- 2016年 7月～2017年 3月 東広島市版「大学連携型CCRC」基本構想の策定。(地域連携センター)
- 2016年 7月 広島国際大学将来構想「ユニバーサルキャンパス構想」の策定。(企画課)
- 2016年 8月 「広島国際大学こども図書館」の実施。(図書館事務室)
- 2016年 9月 専門職連携教育(IPE)Step3、Step4を実施。(総合教育センター)
- 2016年 9月 2016健康サポートフェアに「錠剤(ラムネ菓子)を作ろう」を出展。(薬学部、地域連携センター)
- 2016年10月 2016年度第1回FD研修会「自発的な授業外学修を促すにはどうすれば良いか」を開催。(FD委員会、教務部)
- 2016年10月 第4回広島国際大学ホームカミングデーにて卒業教育研修会を実施。  
 (保健医療学部、総合リハビリテーション学部、医療福祉学部、医療経営学部、心理学部、工学部、薬学部)
- 2016年10月 第13回広島国際大学薬学部卒業教育実地研修会「フィジカルアセスメントセミナー アドバンス編」を開催。  
 (薬学部)
- 2016年10月 第14回広島国際大学薬学部卒業教育研修会「消化管の異物排出ポンプ P-糖タンパク質が介在する薬物相互作用」を開催。(薬学部)
- 2016年10月 広国DAY「専門職連携教育(IPE)Step3、Step4成果発表会」を開催。(総合教育センター)
- 2016年11月 HIUキャリアフェア2016を開催。(キャリアセンター)
- 2016年11月 東広島市産学金官マッチングイベント2016にブース出展ならびにシーズ発表。(研究支援センター)
- 2016年11月 「第26回 東広島市生涯学習フェスティバル」に出展。(総合リハビリテーション学部、地域連携センター)
- 2016年11月 私立大学等改革総合支援事業タイプ1「教育の質的転換」に選定。(会計課)
- 2016年12月 進徳女子高等学校との高大連携協定を締結。(入試センター)
- 2016年12月 学校法人瀬戸内学園、社会福祉法人広島常光福祉会との三者連携協定を締結。(入試センター)
- 2017年 1月 「地域がキャンパス in 黒瀬」活動報告会を開催。(医療福祉学部)
- 2017年 2月 親子向け体験講座を実施。(心理科学部、工学部、医療栄養学部、地域連携センター)
- 2017年 2月 第15回広島国際大学薬学部卒業教育研修会「薬剤師のための漢方講座～水の異常(水滞)の治療～」を開催。  
 (薬学部)
- 2017年 2月 2016年度第2回FD研修会「自発的な授業外学修を促すにはどうすれば良いか」を開催。(FD委員会、教務部)
- 2017年 2月 2016年度FD・SD講演会「活動性を高める授業づくり」を開催。(FD委員会、教務部)
- 2017年 2月 「第13回くまの町健康まつり」に「睡眠相談」を出展。(心理学部、地域連携センター)
- 2017年 2月 開学20周年記念事業「広島国際大学リオデジャネイロ・パラリンピック特別講演会」を開催。(企画課)
- 2017年 2月 第2回東広島市福祉講演会を開催。(入試センター)
- 2017年 3月 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による臨床心理分野専門職大学院認証評価を受審し、協会が定める評価基準に適合していると認定。(実践臨床心理学専攻)
- 2017年 3月 開学20周年記念ロゴマークを作成。(企画課)
- 2017年 3月 「一緒に考えよう、黒瀬のこと。話そう、わたしたちの未来。」を開催。(入試センター)
- 2017年 3月 開学20周年記念事業「アジア介護・福祉教育研修センター開所記念式」を開催。(企画課)
- 2017年 3月 私立大学等教育研究活性化設備整備事業にて講義自動収録配信システムを東広島キャンパス、呉キャンパス、広島キャンパスに整備。(教務部)
- 2017年 3月 専門職連携教育(IPE)Step3、Step4を実施。(総合教育センター)

## ■ 常翔学園中学校・高等学校

- 2016年 4月 [高校] 新入生オリエンテーション合宿を実施。
- 2016年 4月 [中学] 新入生オリエンテーション合宿を実施。
- 2016年 5月 [中学・高校] 校内に古本募金箱を設置。
- 2016年 5月 [中学・高校] 本校が消防署特例認定を取得。
- 2016年 5月 [高校] 文理進学コース2年生を対象に、ヤングアメリカンズアウトリーチ(創作ミュージカル)を実施。
- 2016年 5月 [高校] 薬学・医療系進学コース2年生が、広島国際大学体験学習を実施。
- 2016年 5月 [中学・高校] 後援会総会を実施。

- 2016年 5月 [高校] 特進系2年生を対象に元NASA宇宙飛行士ジョン・A・マクブライト氏講演会を実施。
- 2016年 6月 [中学・高校] 保護者を対象に広島国際大学研修旅行を実施。
- 2016年 6月 [中学・高校] 京セラドーム大阪で、体育祭を実施。
- 2016年 6月 [中学・高校] 公開授業、クラス懇話会を実施。
- 2016年 6月 [中学・高校] 生徒会主催で「熊本・大分地震チャリティコンサート」を実施。
- 2016年 6月 [高校] 本校卒業生のリオオリンピック代表選出(いずれも7人制ラグビー)壮行会を実施。
- 2016年 6月 [高校] 本校卒業生のラグビー強豪大学主将懇話会を実施。
- 2016年 7月 [中学] 修学旅行を実施(沖縄方面)。
- 2016年 7月 [高校] 中高大連携プログラムの一環として、1年生保護者を対象に学園内大学説明会を実施。
- 2016年 7月 [高校] 中華人民共和国四川省・四川双流棠湖中学外語実験学校の生徒・教員が来校。
- 2016年 7月 [中学] イングリッシュキャンプを実施。
- 2016年 7月 [高校] オーストラリア語学研修を実施。
- 2016年 7月 [高校] 英国インターナショナルプログラムを実施。
- 2016年 7月 [高校] フィリピン・セブ島英語研修を実施。
- 2016年 7月 [高校] ラグビー部がニュージーランド遠征を実施。
- 2016年 7月 [高校] 吹奏楽部が大阪府吹奏楽部コンクール北地区大会で金賞を受賞。
- 2016年 7月 [高校] 常翔歴史館主催により本校卒業生で元ラグビー日本代表元木由記雄氏の講演会を実施。
- 2016年 8月 [高校] 科学部員・顧問が、今市商店街主催夏祭りにブースを出展。
- 2016年 8月 [高校] 水泳部・柔道部・ウェイトリフティング部が、それぞれ平成28年度全国高等学校総合体育大会に出場。
- 2016年 9月 [中学・高校] 大阪880万人訓練に参加。
- 2016年 9月 [中学・高校] 文化祭を実施。
- 2016年 9月 [中学・高校] 後援会懇話会を実施。
- 2016年 9月 [中学・高校] 全館Wi-Fi化設置が完了。
- 2016年 9月 [高校] 2年生がOsaka City Project発表会を実施。
- 2016年 9月 [中学] 3年生がキャリア学習発表会を実施。
- 2016年10月 [中学・高校] 後援会研修旅行を実施(滋賀方面)。
- 2016年10月 [高校] 海外修学旅行を実施(オーストラリア方面)。
- 2016年10月 [中学] 3年生が英語スピーチコンテストを実施。
- 2016年11月 [中学・高校] ビブリオバトルを実施。
- 2016年11月 [中学] タブレットを用いた授業の試験的導入開始。
- 2016年11月 [中学・高校] 緊急地震速報訓練を実施。
- 2016年11月 [中学・高校] 防災訓練を実施。
- 2016年11月 [高校] 1年生を対象にグローバル人材育成セミナーを実施。
- 2016年11月 [中学・高校] マラソン大会を実施。
- 2016年12月 [中学・高校] GTECを受験(中学1年生を除く)。
- 2016年12月 [高校] 卒業5年目・10年目合同同窓会・常翔好友クラブ交流パーティを実施。
- 2016年12月 [高校] ラグビー部が第96回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場
- 2017年 1月 [高校] 1年生を対象に企業探究学習発表会を実施
- 2017年 1月 [高校] 1年生・2年生を対象にキャリアセミナーを実施
- 2017年 1月 [中学・高校] 大阪私学振興大会に参加
- 2017年 2月 [高校] 薬学・医療系進学コース2年生がガリレオプラン発表会を実施
- 2017年 2月 [中学] 1年生・2年生を対象にスキー実習を実施
- 2017年 2月 [中学] 常翔啓光学園中学校と百人一首交流会を実施
- 2017年 2月 [中学・高校] クエストカップ2016全国大会に11年連続で出場
- 2017年 2月 [中学] クエストカップ2016全国大会「人物ドキュメンタリー部門」でグランプリを獲得
- 2017年 3月 [高校] 初の防衛医科大学校医学科・兵庫医科大学医学部医学科の合格者を輩出
- 2017年 3月 [高校] 国公立大学に延82名の合格者を輩出(過年度生1名および文部科学省所管外26名含む、過去最高)
- 2017年 3月 [高校] 卓球部が第44回全国高等学校選抜卓球大会に出場
- 2017年 3月 [高校] アーチェリー部が第35回全国高等学校アーチェリー選抜大会に出場
- 2017年 3月 [高校] 部活動生を対象にオリンピックメダリスト有森裕子氏の講演会を実施
- 2017年 3月 [中学・高校] 淀川国際ハーフマラソンに本校生徒がボランティアとして多数参加

## ■ 常翔啓光学園中学校・高等学校

- 2016年 4月 [中学] 3学年全生徒が、オリエンテーション合宿を実施。
- 2016年 4月 [高校] 1年生がアドバンスキャンプを実施。
- 2016年 4月 [高校] 競技かるた部が、第24回大阪府高等学校かるた大会団体戦の部で優勝。
- 2016年 5月 [高校] 第24回大阪府高等学校かるた大会個人戦の部で、3年生と1年生がそれぞれブロック優勝。
- 2016年 5月 [高校] 摂南大学の協力を得て、第1回サイエンスラボを実施。
- 2016年 5月 [中学・高校] 近隣の小学生対象として、サイエンス部主催の親子サイエンス教室を実施。
- 2016年 6月 [中学] 全学年で宿泊行事を実施。1年生大山登山、2年生阿南海洋訓練、3年生四万十川修学旅行。
- 2016年 6月 [高校] 体育祭を実施。
- 2016年 6月 [高校] 体育系クラブの部長・副部長を対象に、リーダー論講演会。ラモス瑠偉さん来校。
- 2016年 6月 [中学・高校] 芸術鑑賞会を実施。枚方市民会館で、演劇鑑賞。
- 2016年 6月 [高校] 中高大連携プログラムの一環として、1年生保護者を対象に学園内大学説明会を実施。

- 2016年 7月 〔中学・高校〕6学年全てで、GTECを受験。
- 2016年 7月 〔高校〕1年生対象で、大阪工業大学・摂南大学の協力を得て、高大連携模擬授業を実施。
- 2016年 7月 〔中学・高校〕英国インターナショナルプログラムを実施。
- 2016年 7月 〔高校〕3年生が、人権映画鑑賞会を実施。
- 2016年 7月 〔高校〕1年生希望者対象で、岡山大学と大阪市立大学の出前授業を実施。
- 2016年 7月 〔高校〕競技かるた部が、第38回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会団体戦の部に出場。
- 2016年 7月 〔中学〕トヨタ自動車株式会社、大阪工業大学RDCとのコラボレーションにより、イノベーション教育を実施。
- 2016年 8月 〔高校〕3年生と1年生が、第40回高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門に大阪府代表として出場し、全国準優勝に貢献。
- 2016年 8月 〔高校〕3年生が、K<sup>1</sup>スタディキャンプ(勉強合宿)を実施。
- 2016年 8月 〔高校〕名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所の協力を得て、ウニの発生の研究を実施。
- 2016年 8月 〔高校〕ワンダーフォーゲル部が、平成28年度全国高等学校総合体育大会登山の部に、4年連続で出場。
- 2016年 8月 〔中学〕2年生が、第56回全国中学校水泳競技大会の部に出場。
- 2016年 8月 〔中学・高校〕啓光祭(文化祭)を実施。
- 2016年 9月 〔高校〕1年生が、K<sup>1</sup>スタディキャンプ(勉強合宿)を実施。
- 2016年 9月 〔高校〕2年生が、修学旅行を実施。海外はハワイとオーストラリア、国内は北海道と八重山諸島の4コース選択制。
- 2016年 9月 〔中学〕体育祭を実施。
- 2016年10月 〔中学〕全学年対象で、人権映画鑑賞会を実施。
- 2016年10月 〔中学〕全学年対象で、大阪工業大学・摂南大学の協力を得て、K<sup>1</sup>クエストを実施。学年ごとに特別プログラムを組んで実施。
- 2016年11月 〔高校〕1年生対象で、摂南大学の留学生と異文化交流会を実施。
- 2016年11月 〔中学・高校〕防災訓練を実施。
- 2016年12月 〔中学・高校〕GTECを受験(中学1年生と高校3年生を除く)。
- 2016年12月 〔中学〕3年生対象で、摂南大学の協力を得て、K<sup>1</sup>クエストを実施。
- 2016年12月 〔高校〕1年生・2年生が、人権映画鑑賞会を実施。
- 2016年12月 〔高校〕1年生対象で、摂南大学の協力を得て、思春期教室を実施。
- 2016年12月 〔中学・高校〕2015年度に誕生した吹奏楽部が、クリスマスコンサートを開催。
- 2017年 1月 〔中学〕英語暗唱大会を実施。
- 2017年 1月 〔中学・高校〕マラソン大会を実施(高校3年生を除く)。
- 2017年 2月 〔中学〕常翔学園中学校との百人一首交流会を、本校で実施。
- 2017年 2月 〔中学〕コミュニケーション発表会を実施。合わせて法政大学で開催された「クエストカップ2017全国大会」(主催:教育と探求社)に、本校代表生徒が参加。
- 2017年 2月 〔高校〕1年生が、3分間スピーチコンテストを実施。
- 2017年 3月 〔高校〕淀川国際ハーフマラソンに、本校生徒がボランティアとして多数参加。
- 2017年 3月 〔高校〕吹奏楽部が、第89回選抜高等学校野球大会に21世紀枠で出場する中村高校の友情応援に協力。

## ■ 法人本部

### ◇ 内部監査室

2016年 5月～6月

教務課業務監査を実施。[対象:広島国際大学呉教務課]

2016年 5月～7月

競争的資金(科学研究費助成事業等)の執行状況監査を実施。

[対象:大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学]

2016年 9月～11月

業務上の法令違反について業務監査を実施。

[対象:本部、大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学、常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校]

2016年 12月～2017年 2月

「報酬・委託・手数料支出」の執行状況について会計監査を実施。

[対象:本部、大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学、常翔学園中学校・高等学校、常翔啓光学園中学校・高等学校]

### ◇ 法人室

2016年 6月 評議員の改選

2016年 7月 理事の改選

### ◇ 経営企画室

2016年 4月 学園設置3大学を対象に「学生アンケート調査」を実施。

2016年 7月 学園設置3大学対象「学生アンケート調査」結果を学内で共有。

2016年 9月～2017年 3月

学園の第Ⅱ期中期目標・計画(2013～2017年度)の進捗確認と見直し、年度末評価を実施。

2016年 9月～11月

学園の第Ⅲ中長期目標・計画(2018～2022年度)策定に向けたフレームワークを検討。

2016年12月～2017年 3月

学園の第Ⅲ中長期目標・計画(2018～2022年度)の各学校等における検討・策定を実施(翌年度4月まで)。

2017年 1月 「J-Vision 22」の浸透を目的として「2017年度理事長指針・学校長方針」冊子を作成し、教職員に配付。

2017年 3月 「J-Vision 22」の浸透状況等についてアンケート調査を実施。

#### ◇ 危機管理室

2016年 4月 災害時行動マニュアルの作成、配布。(危機管理課)

2016年 4月～10月

学園各校地消防計画書(防火・防災)、自衛保安(消防)組織の作成、届出。(危機管理課)

2016年 4月～2017年 2月

学園各校地・キャンパスの防火・防災訓練、反省会の実施。(危機管理課)

2016年 5月 大阪府地域防災総合演習参加。(危機管理課)

2016年 5月 第1回一斉連絡・安否確認システム運用訓練の実施。(危機管理課)

2016年 8月 危機管理対策本部立ち上げ運営訓練実施。(危機管理課)

2016年 9月 中宮・大宮地域防災会議避難所運営訓練の実施。(危機管理課)

2016年 9月 第1回備蓄品(機材を含む)点検の実施。(危機管理課)

2016年 9月 第1回自主点検の実施。(危機管理課)

2016年 9月 大規模地震時における意思決定訓練。(大阪・広島)(危機管理課)

2016年11月 緊急地震速報システム運用訓練の実施。(危機管理課)

2016年11月 第2回一斉連絡・安否確認システム運用訓練の実施。(危機管理課)

2016年11月～2017年 1月

「学園の危機管理WG」の実施。(3回実施)(危機管理課)

2016年12月 広国大教職員対象法務研修会の実施。(渉外課)

2017年 1月 中宮・大宮地域防災会議の開催。(危機管理課)

2017年 2月 防火・防災管理者会議の開催。(危機管理課)

2017年 2月 大阪地区窓口対応教職員対象法務研修会の実施。(渉外課)

2017年 2月 第2回自主点検の実施。(危機管理課)

2017年 3月 第2回備蓄品(機材を含む)点検の実施。(危機管理課)

#### ◇ 広報室

2016年 4月 大阪工業大学新学部開設告知にかかる額面広告掲出と動画の公開。(～2017年3月)

2016年 5月 梅田エリアで開催のイベント「チャリウッド2016」に協賛。(大阪工業大学)

2016年 5月 「第46回神戸まつり」に協賛。(大阪工業大学)

2016年 5月・8月・11月、2017年1月・3月

学園広報誌FLOW69～73号発行。

2016年 7月 第70回水都祭「天神祭奉納花火」に協賛。

2016年 9月 学園案内2016発行。

2016年10月・12月、2017年2月

学内者対象「広報実務セミナー・勉強会Sコース(第1回～3回)」「勉強会Aコース(第1回・2回)」を主催。

2016年10月 大阪工業大学梅田キャンパス「OIT梅田タワー」メディア向け撮影会を主催。

2016年12月 梅田エリアで開催のイベント「スノーマンフェスティバル」に協賛。(大阪工業大学)

2017年 2月 「MBSハッカソン Hack On Air」に協賛。(大阪工業大学)

2017年 2月 「寝屋川ハーフマラソン2017」に協賛。(摂南大学)

2017年 2月 大阪工業大学梅田キャンパス「OIT梅田タワー」メディア対象内覧会を主催。

2017年 2月 関西プレスクラブツアーを大阪工業大学梅田キャンパスにて開催。

2017年 3月 「第7回淀川国際ハーフマラソン」に協賛。

#### 【プレスリリースの配信件数】

大阪工業大学 38本、摂南大学 38本、広島国際大学 25本、学園 4本

#### ◇ システム室

2016年 7月 事務系職員対象情報セキュリティリテラシー向上セミナーの開催。

2016年10月 梅田キャンパス入退室管理システム(セキュリティゲート)との基幹連携システムの開発。

2016年11月 学園寄付金ホームページ及び寄付金申請管理システムの構築。

2017年 1月 梅田キャンパスへの出欠管理システム用ICカードリーダーの増設。

2017年 1月 梅田キャンパスへのテレビ会議システムの増設。

2017年 1月 研修会・講演会等用ノートパソコンの整備。

2017年 3月 摂大研究業績管理システムの更新。

2017年 3月 工大研究業績管理システムの更新。

2017年 3月 常翔及び常翔啓光学園中学校・高等学校の教育系職員用Eメールのクラウド化。

#### ◇ 総務部

2016年 4月 業務改革にかかる理事長表彰式を実施。(職員研修課)

2016年 4月～2017年 1月

- 事務職員階層別研修を実施。(職員研修課)  
 2016年 4月～2017年 3月  
 学外公益団体(日本高等教育評価機構)へ若手職員を研修派遣。(職員研修課)  
 2016年 6月 私学マネジメント講演会を実施。(職員研修課)  
 2016年 8月～ 9月  
 事務職員夏期集合研修を実施。(職員研修課)  
 2016年11月 マネジメント実践研修を実施。(職員研修課)

#### ◇ 財務部

- 2016年 5月・2017年 3月  
 学生等への福利厚生環境維持・向上のため、食堂什器(大宮)、コンビニ什器(呉)を更新。<用度課>  
 2016年 5月～2017年 2月  
 学生等への福利厚生環境維持・向上のため、食堂厨房機器(大宮、寝屋川、枚方第1～3、東広島、呉)を更新。<用度課>  
 2016年 7月～2017年 1月  
 学生等への福利厚生環境維持・向上のため、国際会館空調機20台(野江校地)を更新。<用度課>  
 2016年10月～2017年 3月  
 梅田キャンパス開設に伴う教育・研究用機器、什器、AV・ICTシステム等の整備。<用度課>  
 学生等への福利厚生環境維持・向上のため、食堂厨房機器、什器、券売機等(梅田)を設置。<用度課>  
 2017年 2月・2017年 3月  
 学生等への福利厚生環境維持・向上のため、食堂券売機(寝屋川 1台、東広島 1台)を更新。<用度課>

#### ◇ 研究推進連携機構

##### 1. 特許等管理状況

(2017年3月31日現在)

発明関係	総数	内訳	
		単独	共同
2016年度発明届出件数	17	8	9
2016年度日本国内出願件数 (分割出願等を含む)	10	3	7
国内特許権取得件数(累計)	47	18	29
外国出願件数(累計)	51	15	36
実施、利用許諾関係	特許 (出願中含む)	著作権	商標
実施許諾(オプション含む)(累計)	6	1	1

##### 2. 知的財産、産学連携に関する啓発・支援

###### ① 研究者に対する支援

知的財産セミナーの開催

2016年 6月 大阪工業大学(大宮校地)、摂南大学(寝屋川校地)、広島国際大学(呉校地)

2016年 7月 大阪工業大学(枚方第2校地)、摂南大学(枚方第1校地)

###### ② 事務職員に対する支援

産学連携・研究支援セミナーの開催

2016年 8月 法人、大阪工業大学、摂南大学、広島国際大学の研究支援部署職員向け

産学連携・研究支援業務に係る研修実施

##### 3. 外部組織との連携

###### ① 科学技術振興機構を活用した連携促進(随時)

・ 新技術開発あっせんによる技術移転と産学連携

・ JST外国特許出願支援制度の利用

・ 特許主任調査員による発明内容の評価

・ JST科学技術コモンズへの特許情報の提供とJ-STOREへの掲載

###### ② 知的財産戦略ネットワーク株式会社を活用した技術(創薬系)移転活動(随時)

###### ③ 学外との連携会議

・ 近畿経済産業局:産学官連携実務者会議への参加(2016年10月、2017年3月)

・ 関西私立大学知的財産連絡協議会への参加(2016年9月、11月)

##### 4. シーズ発表

・ イノベーション・ジャパン(2016年8月)、JSTオープンイノベーションフェアWEST2017(2017年2月)

スマートテクノロジー新技術説明会(2017年3月)等

#### ◇ 連携教育推進機構

2016年 4月 第1回中高大連携教育推進委員会を開催。

2016年 6月 第1回学園合同研修会「高大大体教育改革」を開催。

2016年 6月 常翔啓光学園高等学校保護者対象説明会「大学での学びについて～学園設置大学が提供している教育・研究メニュー～」を開催。

- 2016年 6月～11月 常翔学園中学校・高等学校にて中高大連携プログラムを実施。
- 2016年 7月 常翔学園高等学校保護者対象説明会「大学での学びについて～学園設置大学が提供している教育・研究メニュー～」を開催。
- 2016年11月 第2回中高大連携教育推進委員会を開催。
- 2016年12月 第2回学園合同研修会「これからの大学教育と高校教育－高大連携を中心として－」を開催。
- 2016年12月 第1回中高大連携教育推進委員会教務分科会を開催。
- 2017年 3月 第3回中高大連携教育推進委員会を開催。

◇ **ロボティクス&デザインセンター事務室**

- 2016年 4月 梅田キャンパス訴求のための展示をナレッジキャピタルThe Lab.で開始。(展示物:累計6)
- 2016年 5月 「サービスロボット要素技術展」に出展。
- 2016年 6月 イノベーション教育学会第4回年次大会に参加。(ポスターセッション)
- 2016年 7月 日刊工業新聞と共催で「社会人向けデザイン思考講座」を開始。
- 2016年 7月 「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／ロボットの社会実装におけるイノベーション創出人材育成」に関する委託事業採択。(NEDO特別講座:ロボットサービス・ビジネススクール)
- 2016年 8月 大阪商工会議所と共催でロボットに関するシンポジウム「ロボットビジネス推進事業 キックオフセミナー&交流会」を開催。
- 2016年10月 知的財産学部と共同で「ものづくり企業の持続的イノベーションのためのデザイン思考・スタンダード戦略セミナー」を実施。
- 2016年10月 「Japan Robot Week」(日本ロボット工業会、日刊工業新聞社主催)に参加。(ロボットサービス・ビジネススクールに関するパネル展示)
- 2016年11月 日本最大級のWEB講座Schooにおいて、ロボットサービス・ビジネススクールを開講。
- 2016年11月 NEDO委託事業に基づき、米国ポートランド地区イノベーションエコシステムの調査を実施。
- 2016年12月 オープンキャンパスにおいて、梅田キャンパスロボティクス&デザインセンターを訴求。
- 2016年12月 NEDO委託事業に基づき、深圳地区イノベーションエコシステムの調査を実施。
- 2017年 2月 NEDO委託事業に基づき、シリコンバレー地区イノベーションエコシステムの調査を実施。